

■調査概要

- 調査目的 2023年6月10日～6月15日時点の就職活動状況を明らかにする
- 調査対象 2024年3月卒業見込みの全国の大学生、大学院生
- 調査期間 2023年6月10日～6月15日
- 調査方法 マイナビ2024の会員に対するWEBアンケート
- 有効回答 3,645 名
- 集計方法

文理男女別の全体の数値を算出するにあたり、文理男女別の構成比を2024年3月卒業予定の大学生・大学院生の構成比と等しくする為、文部科学省の学校基本調査を基に、ウエイトバック集計を行っている。基準数値は令和4年度学校基本調査(2022年12月公表)の大学3年生・院1年生在籍数を参照し、文理男女比を算出している。

※ウエイトバック集計とは...アンケート回答者の属性構成比率が実際の属性比率と乖離している場合、構成比に合わせるよう重み付けして集計すること。

※%を表示する際に小数点第二位を四捨五入しているため、%の合計が100.0%とならない場合があります。予めご了承ください。

※各月ごとに回答者が異なるため、前月調査から数値が減少する場合がございます。

<回答者データ>

文理男女	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	計	文系	理系	計
	回答数	783	1608	608	646	3645	2,391	1,254

現住所エリア	北海道	東北	関東	甲信越	東海	北陸	関西	中国	四国	九州	計
回答数	101	204	1430	99	407	82	769	181	82	290	3,645

理系	理系学部	理系院	計	機電系	情報系	土建系	化学系	薬学系	その他理系	計
	回答数	800	454	1,254	200	209	83	159	142	461

【調査結果概要】

- ◆2024年卒業予定の大学生・大学院生の6月15日時点での内々定率は76.4% (前年比2.3pt増)
- ◆内々定保有者のうち、入社予定先を決めた学生は67.8%で前年並みの割合。
決めた理由は「その企業の社員の雰囲気や人柄が自分に合っていると感じたから」などが増加
- ◆未内々定の学生の活動状況は、「第一志望群の企業の面接中」が最多。
「就職活動を開始したばかり」、「選考を受ける企業を選定している」は前年より増加
- ◆面接においてコロナ禍の影響で答えようがなかったと思うものは「サークル活動」「部活動」が前年より増加。
入学初年度にコロナ禍を迎えたことが影響か
- ◆一般的な会社員の給与に関する知識「額面と手取りの違い」や「固定残業代」などは高い認知度。
一方、「昇給の仕組み」や「財形貯蓄」、「社会保険料の決定方法」などの認知度は低い状況。
- ◆キャッシュレス決済を利用しないという学生は8.4%。
利用割合が多かったのは「電子マネー」、「QRコード決済・バーコード決済」など
- ◆就職先での給与のデジタル払いについて「選択するかはわからないが興味はある」が最多。
次いで「選択しないと思う」が多く、慎重な意見が多い。

■日本資料について□■

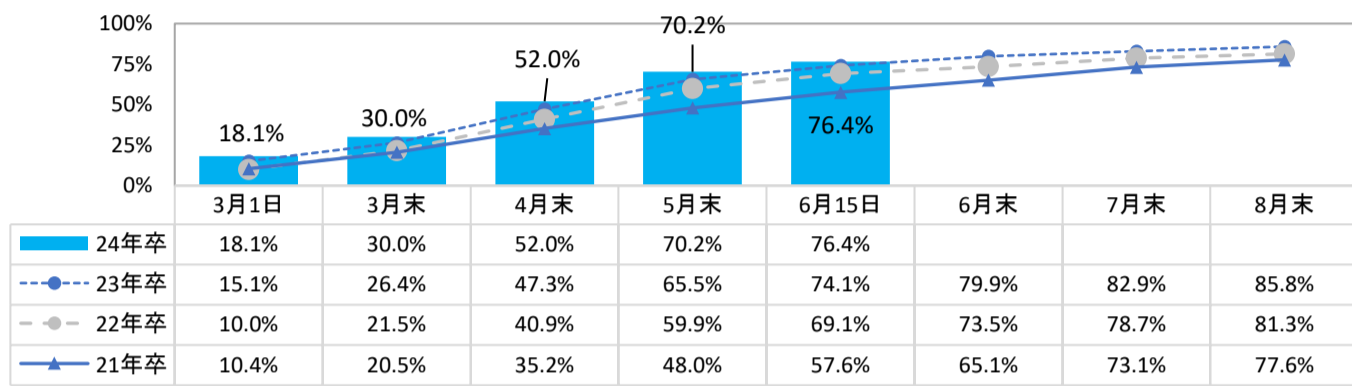
本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。
資料のご利用やご質問等に関しては下記にご連絡ください。
株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ統括部
E-mail : myrm@mynavi.jp

【TOPICS】

◆2024年卒業予定の大学生・大学院生の6月15日時点での内々定率は76.4%（前年比2.3pt増）。

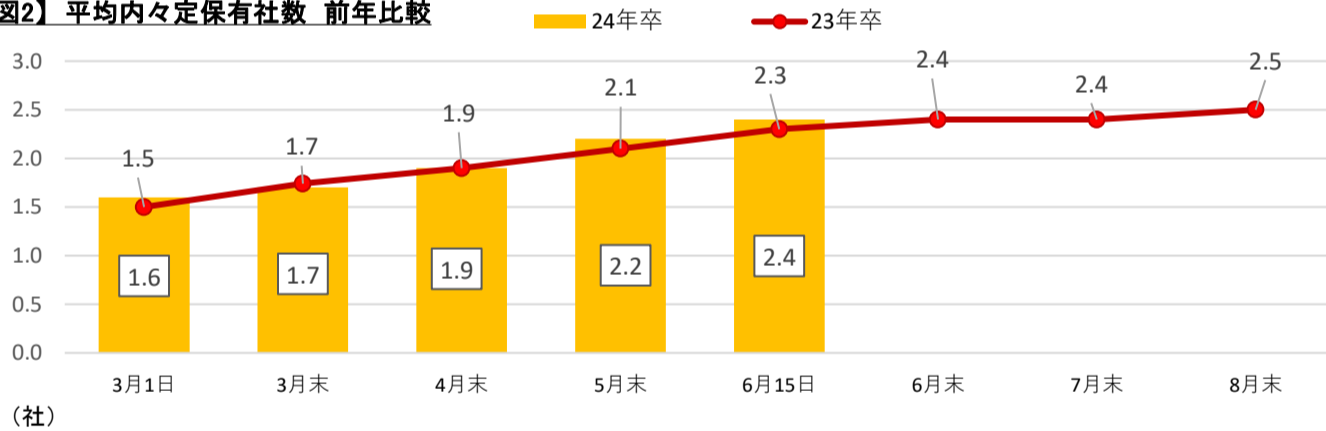
2024年卒業予定の大学生・大学院生の、6月15日時点での内々定率は76.4%（前年比2.3pt増）、平均内々定保有社数は2.4社（前年比0.1社増）であった。企業の採用意欲の高まりを受け、5月同様、内々定率・平均内々定保有社数ともに前年比増となった【図1】【図2】。

【図1】内々定率 経年比較



※3月1日時点の調査は2021年卒調査で初めて実施

【図2】平均内々定保有社数 前年比較

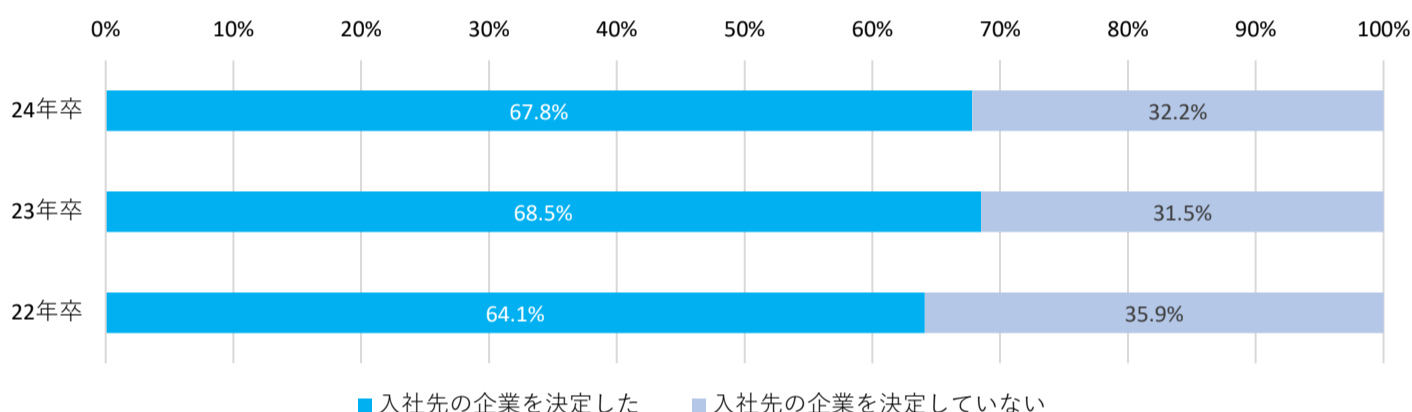


◆内々定保有者のうち、入社予定先を決めた学生は67.8%で前年並みの割合。決めた理由は「その企業の社員の雰囲気や人柄が自分に合っていると感じたから」などが増加。

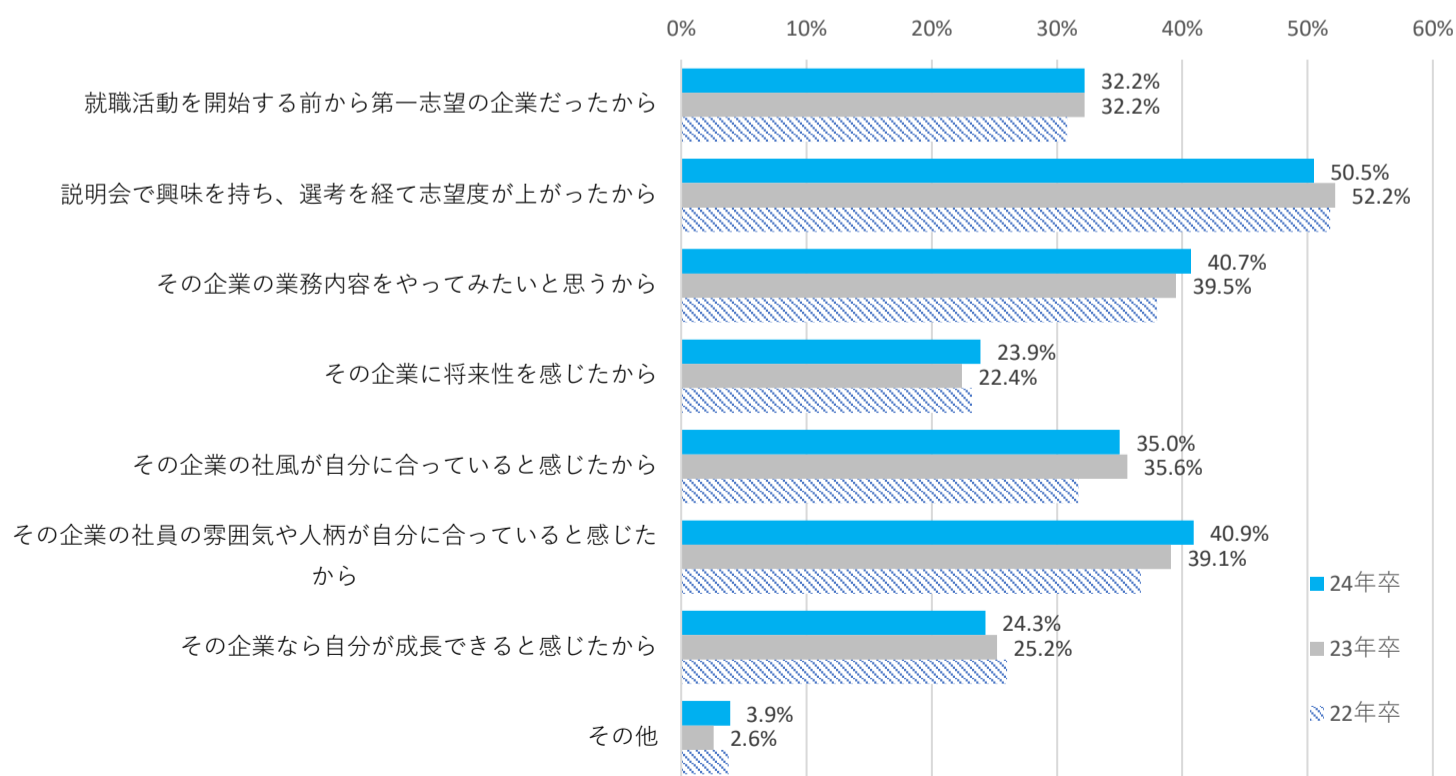
内々定を得たことがある学生のうち、現時点で入社先企業を決定していると回答した割合は67.8%で、前年とほぼ同じ割合となった。【図3】入社先を決定した学生にその理由を聞いたところ、最も多かったのは前年同様「説明会で興味を持ち、選考を経て志望度が上がったから」(50.5%)で、前年からもっとも増加幅が大きかったのは「その企業の社員の雰囲気や人柄が自分に合っていると感じたから」(40.9%)で前年比1.8pt増となった。【図4】2024年卒の学生は企業選択のポイントにおいても社風や社員の雰囲気を重視している(※)が、入社予定先の決定に関しても同じような傾向が見られる。一方、「その企業の業務内容をやってみたいと思うから」や「その企業に将来性を感じたから」などの項目も増加している。社員の雰囲気や人柄という要素は非常に重要ではあるものの、接した社員の態度や学生自身の受け取り方に寄る部分の大きい、捉えづらい要素でもある。業務内容のようにより具体的かつ仕事に直結した要素などと合わせて、複合的な視点で企業を見て入社予定先を決定することは、入社後に働き始めた際自身の仕事のやりがいを複数の軸で持てることにもつながり、それは入社後に受けるリアリティショックを分散させる効果も期待できる。

※マイナビ2024年卒大学生生活動実態調査(3月1日)

【図3】(内々定保有学生限定) 入社先の企業を決めたかどうか



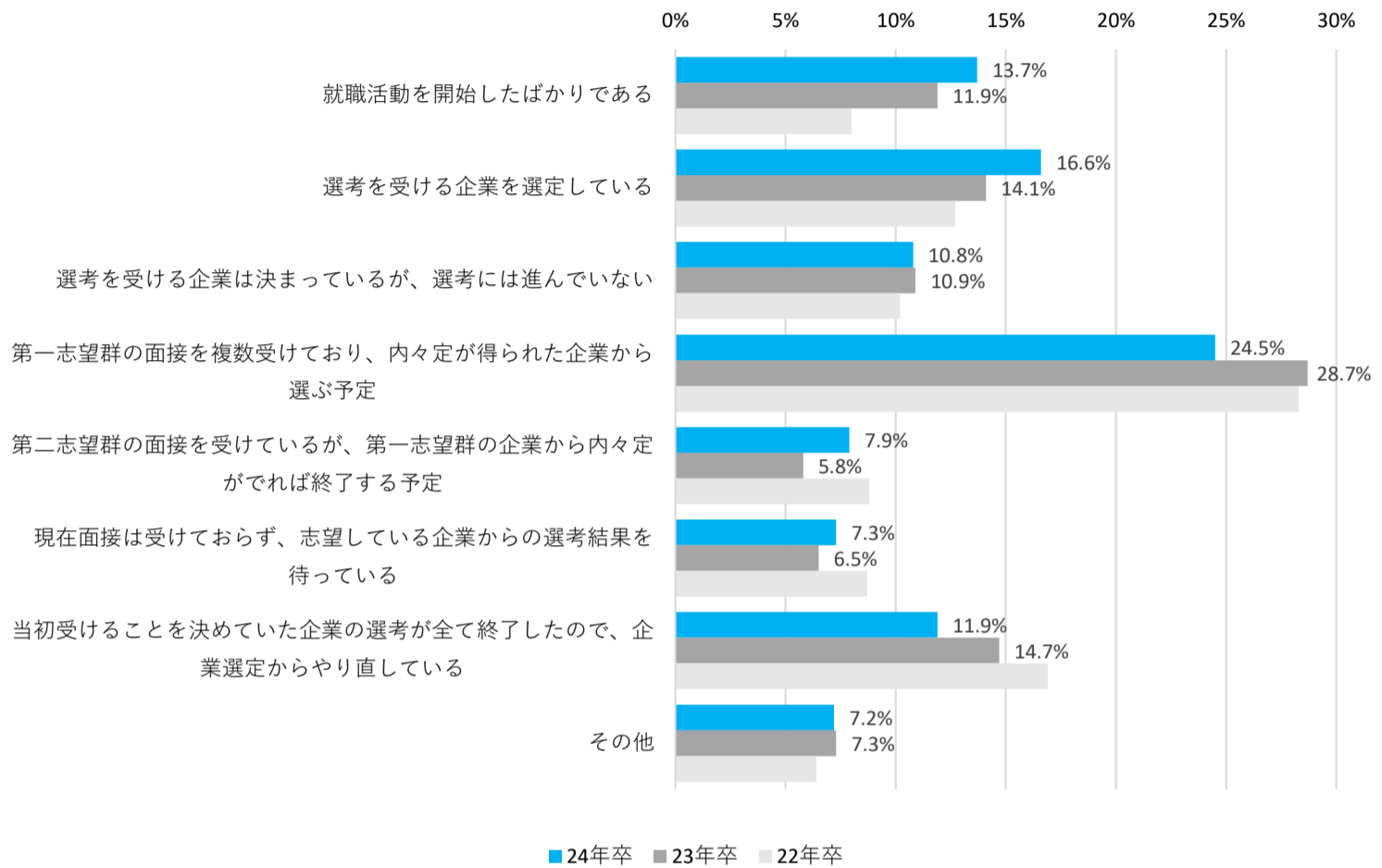
【図4】(内々定保有かつ入社先を決定した学生限定) 入社先の企業を決めた理由(複数回答)



◆未内々定の学生の活動状況は、「第一志望群の企業の面接中」が最多。
 「就職活動を開始したばかり」、「選考を受ける企業を選定している」は前年より増加。

内々定を得ていない学生に現在の活動状況を聞いたところ、最も多かったのは「第一志望群の面接を複数受けており、内々定が得られた企業から選ぶ予定」の回答で、24.5%だった。【図5】未内々定の学生の多くも第一志望群の企業の選考に順調に進み、その結果を待っている状況のようだが、一方で「就職活動を開始したばかりである」が13.7%（前年比1.8pt増）、「選考を受ける企業を選定している」が16.6%（前年比2.5pt増）など、活動序盤の学生も一定数存在していることがわかる。

【図5】（未内々定の学生限定）就職活動の進行状況

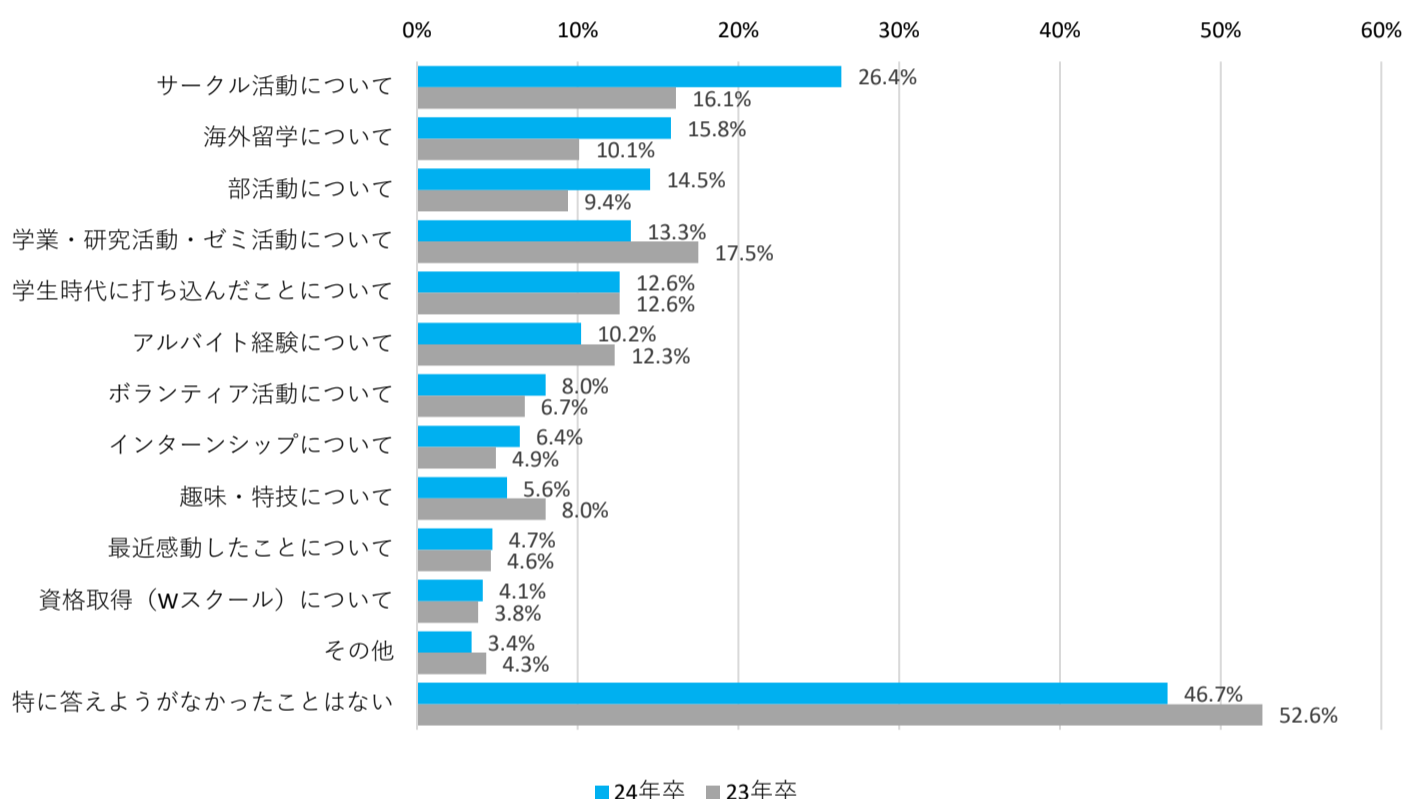


◆面接においてコロナ禍の影響で答えようがなかったと思うものは「サークル活動」「部活動」が前年より増加。入学初年度にコロナ禍を迎えたことが影響か

コロナ禍の影響について、面接で聞かれたことの中で答えようがなかったことを聞いたところ、最も多かったのは「サークル活動について」(26.4%)で、前年より10pt以上増加した。「海外留学について」や「部活動について」も前年より5pt以上増え、「特に答えようがなかったことはない」と答えた割合は減少した。2024年卒の学生は大学入学直後にコロナ禍を迎えたこともあり、サークルや部活動に参加する機会が減少したことが背景にあると考えられる(※)。「特に答えようがなかったことはない」と答えた割合が2023年卒の学生よりも減っていることなどからも、コロナ禍から受ける影響がコロナ禍発生から時間が経過するにしたがって徐々に少なくなっていくというのではなく、入学年度によって受ける影響の度合いや内容が異なっている様子がわかる。

※マイナビ 2024年卒大学生のライフスタイル調査

【図6】 コロナ禍の影響で、面接において聞かれたが答えようがなかったこと（複数回答）

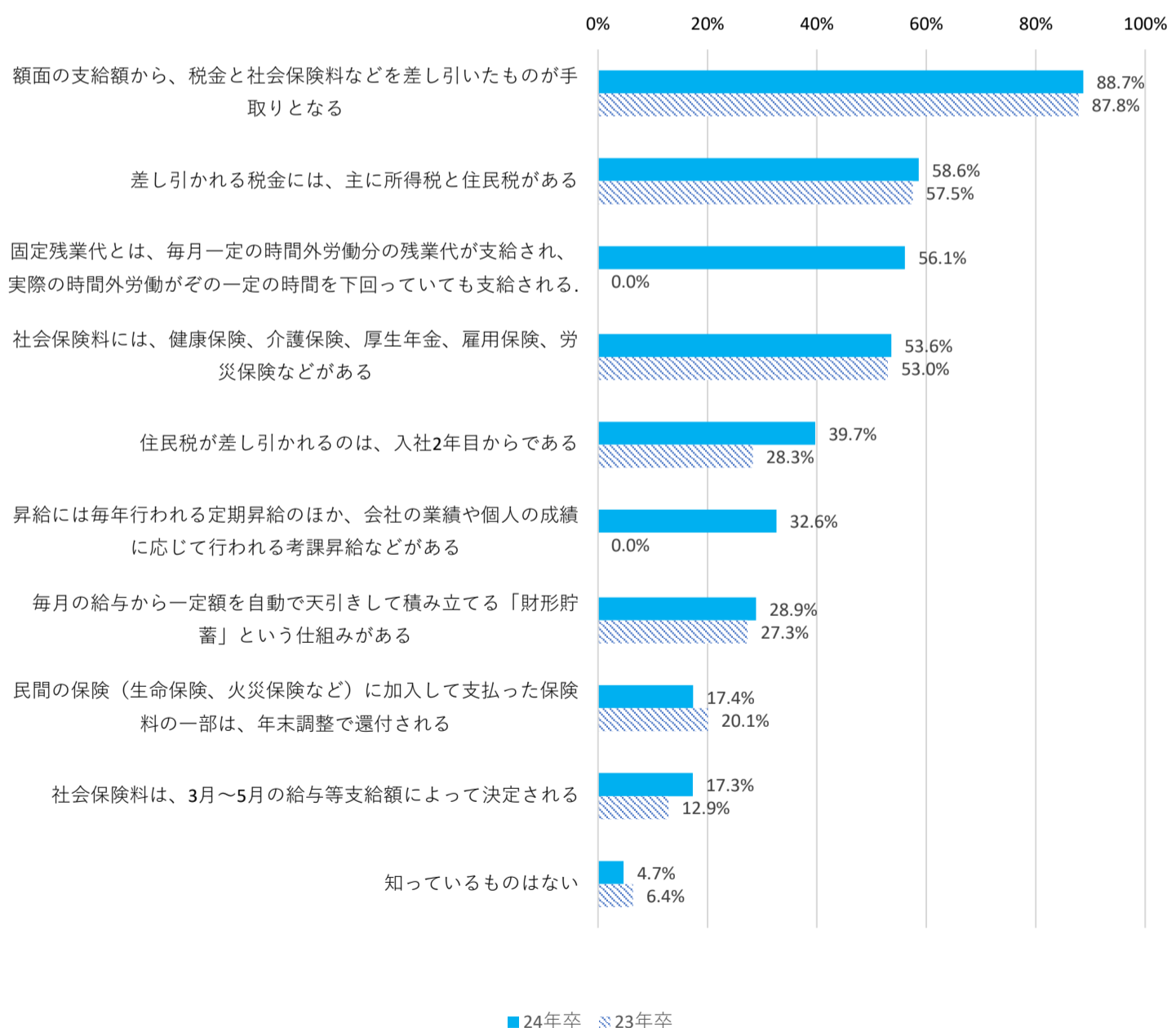


◆一般的な会社員の給与に関する知識「額面と手取りの違い」や「固定残業代」などは高い認知度。一方、「昇給の仕組み」や「財形貯蓄」、「社会保険料の決定方法」などの認知度は低い状況。

一般的な会社員の給与に関する知識についての選択肢を提示し、知っているものを回答してもらった。最も多かったのは「額面の支給額から、税金と社会保険料などを差し引いたものが手取りとなる」(88.7%)で、次いで「差し引かれる税金には、主に所得税と住民税がある」(58.6%)、「固定残業代とは、毎月一定の時間外労働分の残業代が支給され、実際の時間外労働がその一定の時間を下回っていても支給される」(56.1%)など、額面と手取りや残業代に関する選択肢が上位になった。
【図7】

一方、回答が少なかったのは「昇給には毎年行われる定期昇給のほか、会社の業績や個人の成績に応じて行われる考課昇給などがある」(32.6%)、「毎月の給与から一定額を自動で天引きして積み立てる「財形貯蓄」という仕組みがある」(28.9%)、「民間の保険(生命保険、火災保険など)に加入して支払った保険料の一部は、年末調整で還付される」(17.4%)、「社会保険料は、3月～5月の給与等支給額によって決定される」(17.3%)などだった。企業による初任給の増額や賃上げといった動きや、政府による社会保険料の増額などが報道で取りざたされる中、入社後の昇給や資産形成、そして給与から天引きされる社会保険料の決定方法といった項目に関しては、まだまだ認知度が低い状況であることがわかった。

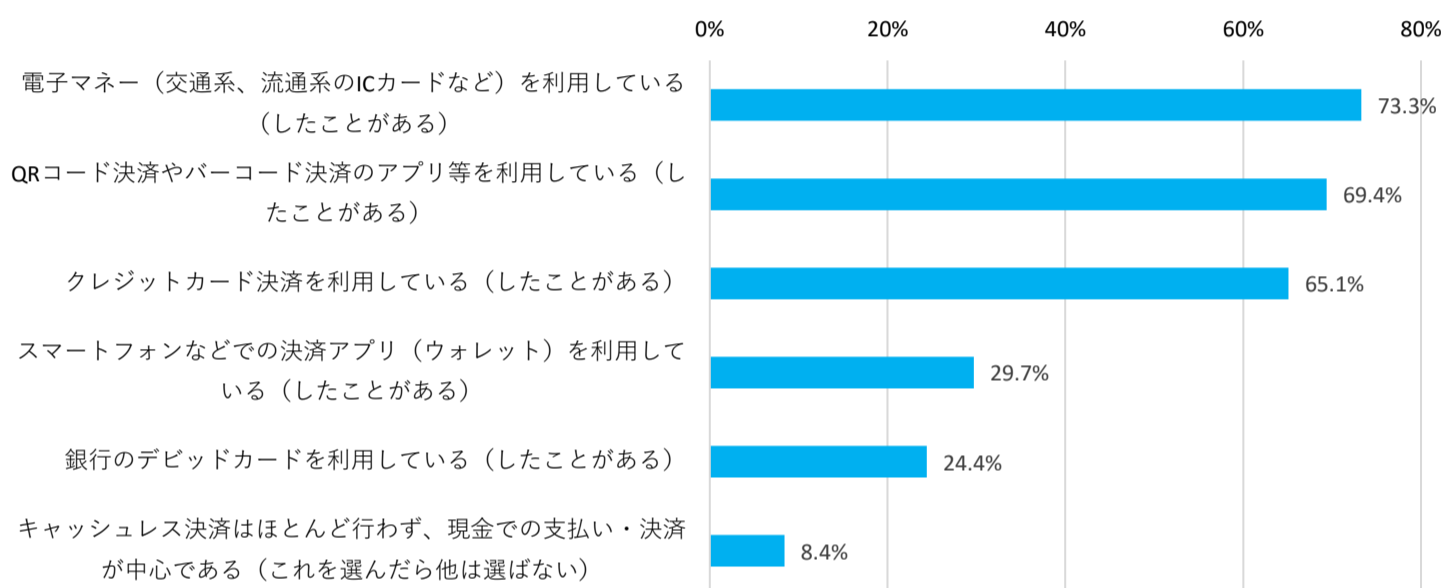
【図7】 一般的な会社員の給与について知っていること(複数回答)



◆キャッシュレス決済を利用しないという学生は8.4%。利用割合が多かったのは「電子マネー」、「QRコード決済・バーコード決済」などで6割以上が利用と回答。

電子マネーやQRコード決済・バーコード決済、クレジットカード決済のような各種キャッシュレス決済の利用割合について聞いたところ、「電子マネー（交通系、流通系のICカードなど）」を利用した経験があるという回答が最も多く（73.3%）で、「QRコード決済やバーコード決済」（69.4%）、「クレジットカード決済」（65.1%）などが続き、いずれも6割以上の学生が利用経験があると回答した。「キャッシュレス決済をほとんど行わず、現金での支払い・決済が中心」という回答は8.4%と少なく、学生の間でキャッシュレス決済が浸透している様子がわかる。【図8】

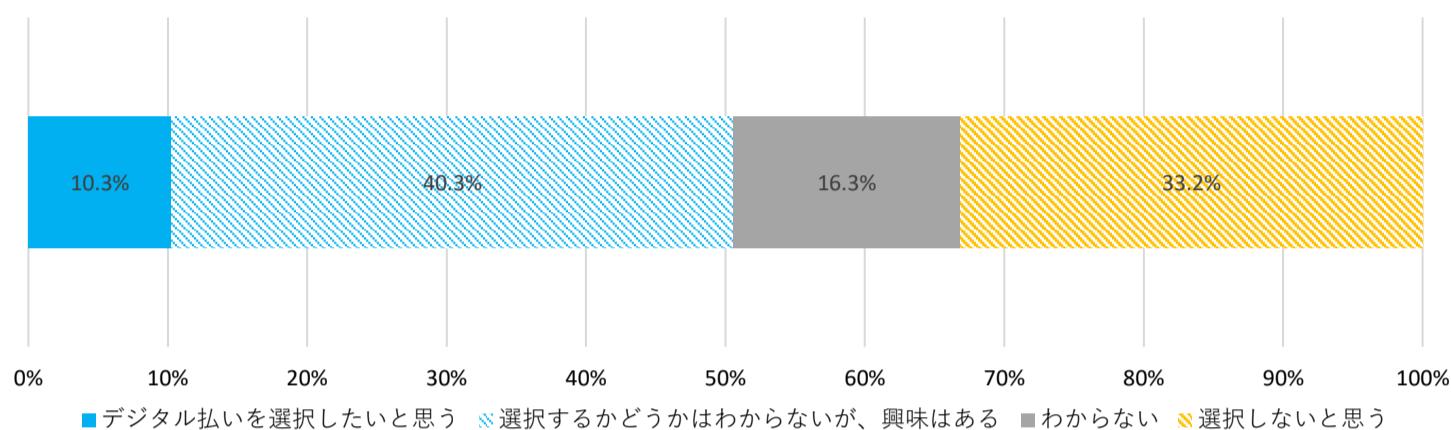
【図8】 キャッシュレス決済に関する立場として当てはまるもの（複数回答）



◆就職先での給与のデジタル払いについて「選択するかはわからないが興味はある」が最多。次いで「選択しないと思う」が多く、慎重な意見が多い。

給与に関する知識に付随し、この2023年4月より順次解禁された給与のデジタル払いについて、就職先で導入されていると仮定した場合に選択すると思うかどうかを聞いた。最も多かったのは、デジタル払いを「選択するかどうかわからないが、興味はある」(40.3%)で、「選択しないと思う」(33.2%)が続き、「選択したいと思う」は10.3%であった。キャッシュレス決済の利用率の高さに比べて、給与のデジタル払いに対しては慎重な姿勢の学生が多いことがわかる。

【図9】 就職先で給与のデジタル払いを導入していた場合、選択するかどうか



「選択したいと思う」と答えた理由としては、「現金を持ち歩かなくてすみ、銀行でお金を下ろさなくても良くなるなどのメリットが大きいからである」のように振り込まれた給与を銀行から引き出す手間がないことをメリットとしてあげる声や、「現金をほぼ使っていない、クレジットやQR決済を頻繁に使うため」のように現金払いをしていないからというもの、また「ポイントがつくから」というメリットをあげるものもあった。

最も多かった「選択するかどうかわからないが、興味はある」と答えた理由としては、「日常生活のほとんどでデジタル決済を利用しているためデジタル払いの方が便利ではあるが、もしデジタル決済システムに不具合が生じた際、また携帯電話が壊れてデジタル決済が利用できなくなった際などに困るかもしれない」などのように、デジタル払いの利便性を理解しつつも通信環境やシステムの不具合などの影響を懸念する声があった。また「現状は光熱費やクレジットカードなどの口座振替の支払いがあるので、すべての金額が直接キャッシュレス決済アプリに入ると困る」のように口座振替との兼ね合いを心配するものや、「初任給が通帳に記帳される、という経験をしたい」というものなど、さまざまな意見があった。

「選択しないと思う」と答えた理由でも、「現金と比べて、セキュリティ面などで不安があるため」や「大きな額のため、デジタルだと信用できないから」のようにセキュリティ面の不安をあげるものや、「銀行が直接運営していないデジタルマネーでは、運営終了などの危険性を孕んでいる」や「特定の企業に依存した給与のデジタル払いは危険だと思うから」のように民間事業者が運営する電子マネーがどこまで保証されるのかという制度的な不安をあげるものもあった。

【表1】就職先で給与のデジタル払いを導入していた場合、選択するかどうかと、その理由(自由回答)

給与のデジタル払いについての意見	属性	内容
選択したいと思う	文系女子	ポイントがつくから。
	理系男子	現金を持ち歩かなくてすみ、銀行でお金を下ろさなくても良くなるなどのメリットが大きいからである。
	文系男子	現金をほぼ使っていない、クレジットやQR決済を頻繁に使うため。

選択するかどうかはわからないが、興味はある	文系女子	デジタル以外で給与の支払いをされた方が記録が実際にきちんと残る上に、文字で確認できるため安心できると思います。一方、デジタル払いだとより便利であるというメリットもありますが、情報管理やデータの損失が不安になる上に、本当にお金が振り込まれているのかという実感がないこともデメリットであると思います。
	文系女子	日常生活のほとんどでデジタル決済を利用しているためデジタル払いの方が便利ではあるが、給与が実際に目に見えないことや、もしデジタル決済システムに不具合が生じた際、また携帯電話が壊れてデジタル決済が利用できなくなった際などに困るかもしれないと考えるため、デジタル払い導入について、興味はあるが選択するかどうかわからない。
	理系男子	セキュリティ面がしっかりしていればありうる選択肢だと思う
	文系女子	デジタル払いについて、詳しく知らないのですが、やはりお金は現金の方が貰えた感があるので好きです。また、あまりデジタル機器に頼りすぎると、停電や災害が起こった時に大変なことになるので、デジタルにしなくてもなんとか業務は、デジタル化せずこのままの方が良いと考えています。
	理系男子	詳細を見て利便性が高ければ選択したい。ただ現状は光熱費やクレジットカードなどの口座振替の支払いがあるので、すべての金額が直接キャッシュレス決済アプリに入ると困る。
	文系女子	初任給が通帳に記帳される、という経験をしたい。デジタル払いの便利さと危うさを天秤にかけると、まだ知らないことが多いので不安の方が大きい。
わからない	理系男子	メリットやデメリットに関して知らないことが多いため。
	文系男子	デジタル払いと現金払いの両立を図っていきと思います。なぜなら、デジタル払いに対応できていないお店や施設も存在するからです。世間的には、デジタル技術の進歩が話題になっていますが、私の近所の施設などはまだまだ現金払いを行っているところがほとんどです。
	文系女子	お店によって使える決済方法が違うので、完全にデジタルは怖い。また、スマホ決済の場合スマホが壊れたり充電がなくなった時に使えなくなってしまう。併用できるようにしたい。
	文系男子	マイナンバーカード誤登録などデジタル系の形態は信用・信頼しきれない部分があり、不安。まだ分からない
	文系女子	QRコード決済を使う際、チャージの手間が省けるのはありがたいが、携帯の中に大金を入れて持ち歩くには少し抵抗があるから。
選択しないと思う	文系男子	現金と比べて、セキュリティ面などで不安があるため
	文系女子	銀行口座にあることで、しっかりと貯金がしやすいから。
	理系男子	銀行の残高は銀行が倒産したとき保障されるが、電子マネーは保障されないのではないかと不安だから。
	理系女子	銀行が直接運営していないデジタルマネーでは、運営終了などの危険性を孕んでいるため。
	理系男子	現在では現金からデジタル払いへの移行は容易であるが、デジタル払いから現金への換金が困難なため。可能な限り、選択の余地のある選択肢を持っていたい。
	文系男子	田舎すぎてキャッシュレス非対応の場所が多いから
	理系女子	バーコード決済のアプリは、普段の買い物の支払いで使用していますが、そのアプリに入れている金額は1万円以下です。給与のような高額をアプリに入れることに対してはまだ不安があるので、デジタル払いは選択しないと思います。
	文系男子	デジタル支払いの場合現金化の手間が大きいから。
	文系女子	特定の企業に依存した給与のデジタル払いは危険だと思うから
	理系男子	大きな額のため、デジタルだと信用できないから。

<INDEX>

1. 内々定状況

- (1) 内々定率
- (2) 内々定保有社数

2. 内々定保有者の状況

- (1) 今後の活動について(就職活動継続意向)

3. 現在の活動状況

- (1) 入社意思の最も高い企業について、今までに対面の機会はあったか
- (2) 入社意思の最も高い企業について、選考当初から志望度の変化はあるか
- (3) 入社意思の最も高い企業について、選考当初から志望度が変化した理由

4. 今後の活動予定

- (1) 現時点で入社先の企業を決定しているか
- (2) 入社先の企業を決められた理由
- (3) 入社先の企業を決めていない理由
- (4) 入社先の企業を決める上で不安なことはあるか(最終面接まで全てWEBだった学生)

5. 6月の学生の特徴

- (1) 就職活動の進行状況
- (2) あなたが注力し、その結果として内々定につながったと思う活動(最も当てはまるもの1つ)
- (3) その活動を選んだ理由
- (4) 【全員】コロナ禍の影響について、面接で聞かれたことの中で答えようがなかったことがあれば全てお選びください。(複数選択)
- (5) 【インターンシップ・仕事体験に参加した方】どのような活動が現在の活動に活かされたと思いますか
- (6) これまでの就職活動に対しての「納得感」について
- (7) 【全員】一般的な会員の給与について、知っているものをすべてお選びください。
- (8) 【全員】2023年4月から給与のデジタル払いが順次解禁されましたが、キャッシュレス決済などに関する立場として当てはまるものを選び
- (9) 【全員】就職する企業でデジタル払いが導入されていると仮定した際、デジタル払いを選択すると思いますか。
- (10) その理由を教えてください。

■調査概要

- 調査目的 : 2023年6月10日～6月15日時点の就職活動状況を明らかにする
- 調査対象 : 2024年3月卒業見込みの全国の大学生、大学院生
- 調査期間 : 2023年6月10日～6月15日
- 調査方法 : マイナビ2024の会員に対するWEBアンケート
- 有効回答 : 3,645 名
- 集計方法

文理男女別の全体の数値を算出するにあたり、文理男女別の構成比を2024年3月卒業予定の大学生・大学院生の構成比と等しくする為、文部科学省の学校基本調査を基に、ウエイトバック集計を行っている。基準数値は令和4年度学校基本調査(2022年12月公表)の大学3年生・院1年生在籍数を参照し、文理男女比を算出している。

※ウエイトバック集計とは...アンケート回答者の属性構成比率が実際の属性比率と乖離している場合、構成比に合わせて重み付けして集計すること。

※%を表示する際に小数点第二位を四捨五入しているため、%の合計が100.0%と異なる場合があります。予めご了承ください。

※各月ごとに回答者が異なるため、前月調査から数値が減少する場合もございます。

<回答者データ>

文理男女

	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	計	文系	理系	計
回答数	783	1,608	608	646	3,645	2,391	1,254	3,645

現住所エリア

	北海道	東北	関東	甲信越	東海	北陸	関西	中国	四国	九州	計
回答数	101	204	1,430	99	407	82	769	181	82	290	3,645

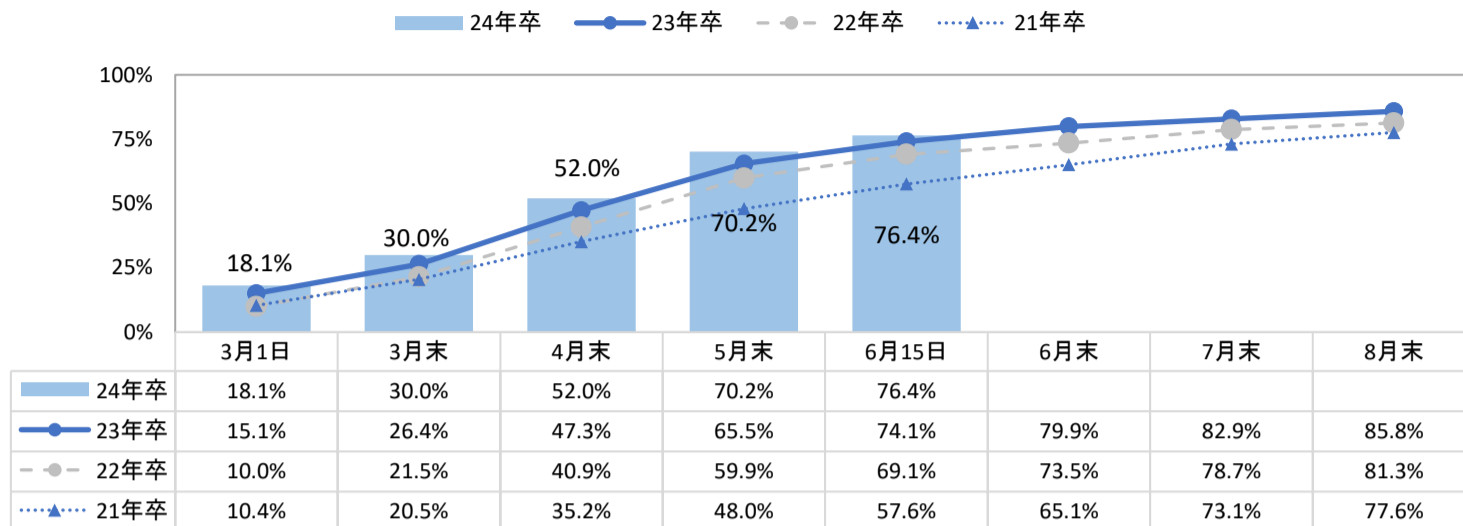
理系

	理系学部	理系院	計	機電系	情報系	土建系	化学系	薬学系	その他理系	計
回答数	800	454	1,254	200	209	83	159	142	461	1,254

1. 内々定状況

1-(1) 内々定率

内々定率 経年比較



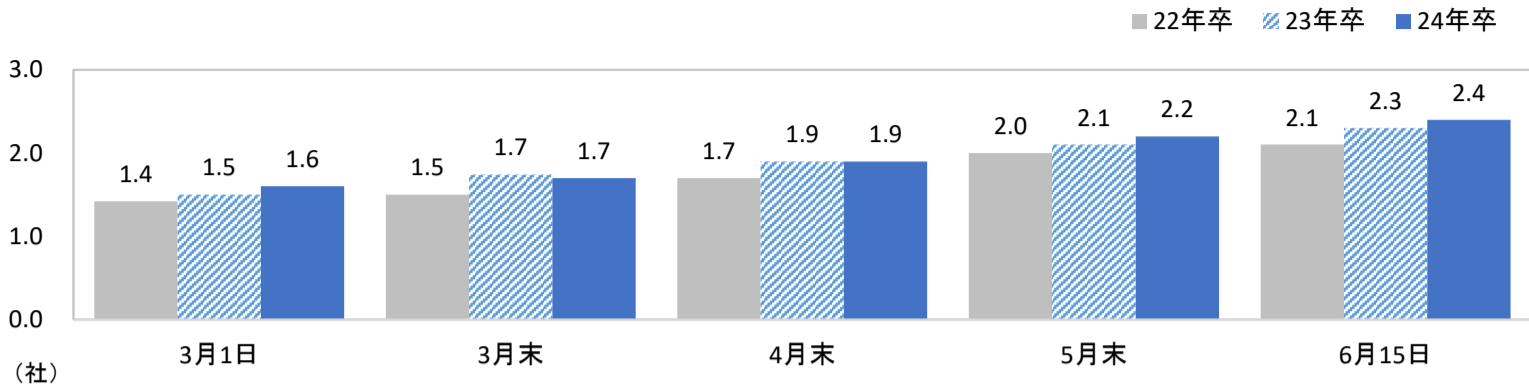
	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	3,645	2,391	1,254	783	1,608	608	646
24年卒	76.4%	72.6%	82.6%	71.5%	73.8%	82.2%	83.1%
23年卒	74.1%	-	-	70.5%	70.5%	80.0%	79.6%
22年卒	69.1%	-	-	65.9%	63.7%	76.5%	75.3%
21年卒	57.6%	-	-	54.4%	49.5%	68.3%	64.6%
20年卒	72.0%	-	-	68.0%	66.9%	79.6%	79.9%
前月比	+6.2pt	+5.9pt	+6.6pt	+5.4pt	+6.5pt	+6.6pt	+6.4pt
前年比	+2.3pt	-	-	+1.0pt	+3.3pt	+2.2pt	+3.5pt

	北海道	東北	関東	甲信越	東海	北陸	関西	中国	四国	九州
回答数	101	204	1,430	99	407	82	769	181	82	290
24年卒	70.1%	72.0%	76.9%	81.6%	82.3%	83.9%	74.6%	76.1%	80.7%	70.9%
23年卒	66.9%	74.5%	75.1%	68.3%	76.7%	79.8%	71.7%	71.3%	83.1%	73.6%
22年卒	61.1%	71.1%	69.0%	68.6%	74.1%	81.1%	68.1%	69.2%	73.0%	62.6%
21年卒	56.9%	56.2%	55.8%	62.9%	61.8%	62.4%	52.9%	59.4%	58.5%	52.8%
20年卒	70.5%	70.0%	72.3%	72.2%	71.7%	78.4%	68.8%	77.5%	71.9%	66.4%
前月比	+7.5pt	+2.8pt	+5.4pt	+14.3pt	+9.7pt	-1.6pt	+5.6pt	+8.9pt	+7.6pt	+6.3pt
前年比	+3.2pt	-2.5pt	+1.8pt	+13.3pt	+5.6pt	+4.1pt	+2.9pt	+4.8pt	-2.4pt	-2.7pt

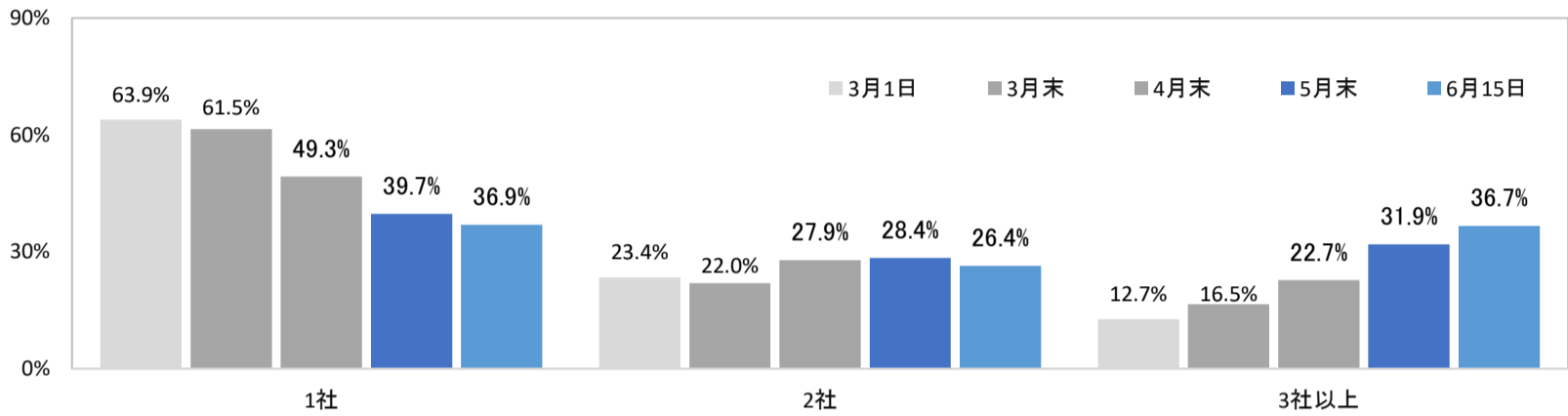
	理系全体	理系学部	理系院	機電系	情報系	土建系	化学系	薬学系	その他理系
回答数	1,254	800	454	200	209	83	159	142	461
24年卒	82.6%	76.5%	92.2%	88.7%	78.9%	82.0%	83.8%	88.5%	79.0%
23年卒	79.8%	73.5%	89.7%	83.5%	73.1%	81.4%	87.2%	90.5%	75.2%
22年卒	76.1%	70.6%	85.5%	82.5%	70.6%	78.9%	80.2%	85.5%	70.6%
21年卒	66.4%	-	-	73.7%	69.0%	66.8%	70.3%	80.5%	59.1%
前月比	+6.6pt	+8.9pt	+4.5pt	+7.5pt	+6.1pt	+2.7pt	+1.7pt	+7.3pt	+9.6pt
前年比	+2.8pt	+3.0pt	+2.5pt	+5.2pt	+5.8pt	+0.6pt	-3.4pt	-2.0pt	+3.8pt

※各月ごとに回答者が異なるため、前月調査から数値が減少する場合もございます。

内々定保有社数(平均)経年比較



内々定保有社数分布



<全体>

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	2,724	1,707	1,017	546	1,161	492	525
1社	36.9%	36.2%	38.0%	35.9%	36.4%	39.2%	35.8%
2社	26.4%	26.0%	27.0%	22.9%	28.9%	27.0%	26.9%
3社以上	36.7%	37.9%	35.0%	41.2%	34.6%	33.7%	37.3%
内々定保有社数(平均)	2.4	2.4	2.3	2.5	2.3	2.3	2.4

<23年卒 全体>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	4,606	883	1,877	946	900
1社	37.4%	36.9%	36.9%	40.3%	34.4%
2社	27.5%	25.1%	29.9%	26.4%	29.6%
3社以上	35.0%	37.9%	33.2%	33.3%	36.0%
内々定保有社数(平均)	2.3	2.5	2.3	2.3	2.4

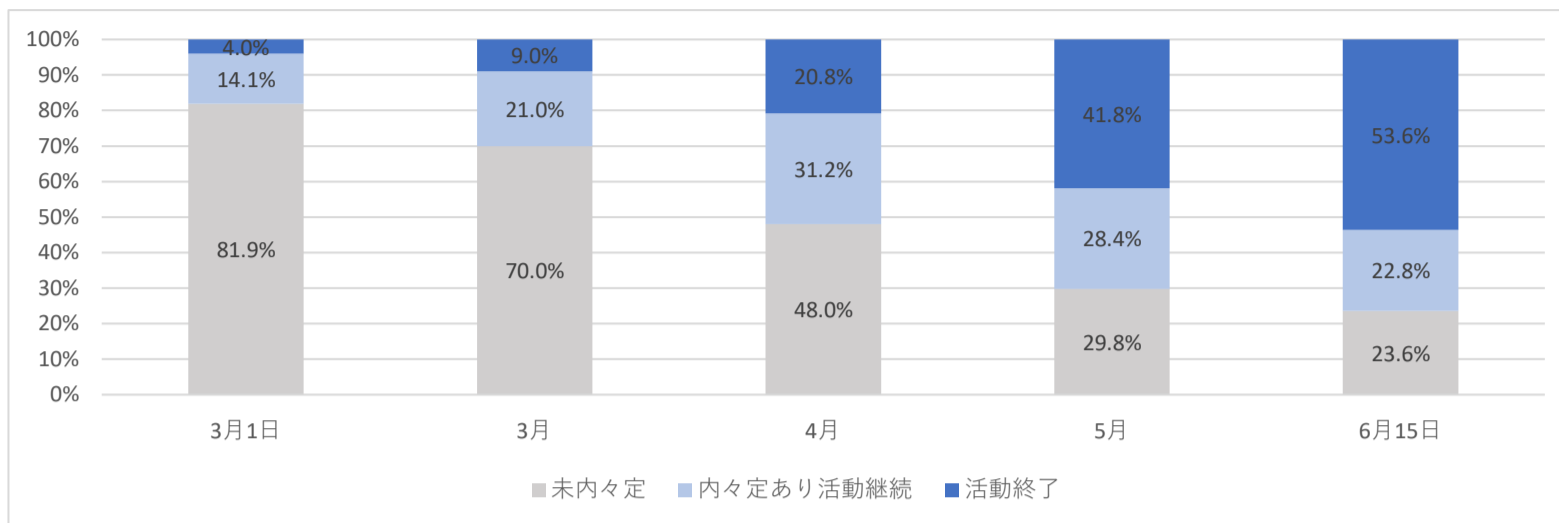
<22年卒 全体>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	5,205	996	2,119	1,100	990
1社	43.3%	44.4%	43.6%	43.5%	40.4%
2社	27.9%	25.0%	27.9%	29.5%	30.9%
3社以上	28.7%	30.6%	28.6%	26.9%	28.7%
内々定保有社数(平均)	2.1	2.2	2.1	2.1	2.1

■ 2. 内々定保有者の状況

2-(1) 今後の活動について(就職活動継続意向)

就職活動継続意向



<全体>

	24年卒	23年卒	前年比	文系	理系
回答数	2,739	4,596	-	1,718	1,021
内々定先に満足したので終了する	66.5%	66.5%	±0.0pt	59.5%	76.4%
内々定先に不満だが活動は終了する	3.6%	3.0%	+0.6pt	4.0%	3.0%
内々定先に不満なので続行する	9.2%	8.8%	+0.4pt	10.7%	7.2%
内々定先に不満ではないが、他の企業も見たいので続行する	19.6%	21.0%	-1.4pt	24.8%	12.2%
その他	1.1%	0.7%	+0.4pt	1.0%	1.1%
内々定を保有しているが活動継続(その他含む)	29.9%	30.5%	-0.6pt	36.5%	20.5%
活動終了	70.1%	69.5%	+0.6pt	63.5%	79.4%
未内々定	23.6%	25.9%	-2.3pt	27.4%	17.4%
保有継続	22.8%	22.6%	+0.2pt	26.5%	16.9%
活動終了	53.6%	51.5%	+2.1pt	46.1%	65.6%

※保有継続率=内々定率×内々定を保有しているが活動継続(その他含む)

※活動終了率=内々定率×活動終了

<23年卒>

<文理男女別>	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	546	1,172	493	528	879	1,876	941	900
内々定先に満足したので終了する	61.0%	58.0%	78.7%	72.3%	61.7%	57.4%	79.1%	71.6%
内々定先に不満だが活動は終了する	5.1%	3.0%	2.8%	3.4%	3.5%	2.5%	3.3%	2.8%
内々定先に不満なので続行する	10.1%	11.3%	6.9%	7.8%	10.7%	12.2%	4.5%	6.1%
内々定先に不満ではないが、他の企業も見たいので続行する	23.3%	26.3%	10.5%	15.2%	23.5%	27.3%	12.5%	18.6%
その他	0.5%	1.5%	1.0%	1.3%	0.6%	0.7%	0.6%	1.0%
内々定を保有しているが活動継続(その他含む)	33.9%	39.1%	18.4%	24.3%	34.8%	40.2%	17.6%	25.7%
活動終了	66.1%	61.0%	81.5%	75.7%	65.2%	59.9%	82.4%	74.4%
未内々定	28.5%	26.2%	17.8%	16.9%	29.5%	29.5%	20.0%	20.4%
保有継続	24.2%	28.9%	15.1%	20.2%	24.5%	28.3%	14.1%	20.5%
活動終了	47.3%	45.0%	67.0%	62.9%	46.0%	42.2%	65.9%	59.2%

※保有継続率=内定率×内々定を保有しているが活動継続(その他含む)

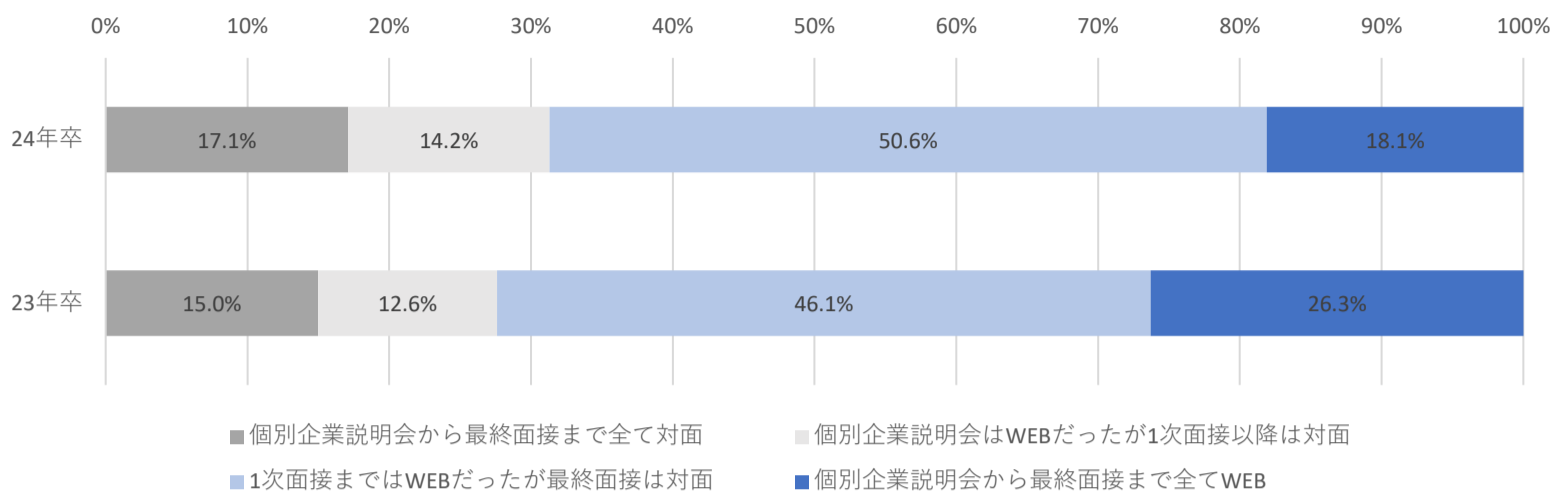
※活動終了率=内定率×活動終了

<前年比>

	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
内々定先に満足したので終了する	-0.7pt	+0.6pt	-0.4pt	+0.7pt
内々定先に不満だが活動は終了する	+1.6pt	+0.5pt	-0.5pt	+0.6pt
内々定先に不満なので続行する	-0.6pt	-0.9pt	+2.4pt	+1.7pt
内々定先に不満ではないが、他の企業も見たいので続行する	-0.2pt	-1.0pt	-2.0pt	-3.4pt
その他	-0.1pt	+0.8pt	+0.4pt	+0.3pt
内々定を保有しているが活動継続(その他含む)	-0.9pt	-1.1pt	+0.8pt	-1.4pt
活動終了	+0.9pt	+1.1pt	-0.9pt	+1.3pt
未内々定	-1.0pt	-3.3pt	-2.2pt	-3.5pt
保有継続	-0.3pt	+0.5pt	+1.0pt	-0.3pt
活動終了	+1.3pt	+2.8pt	+1.1pt	+3.7pt

3-(1) 入社意思の最も高い企業について、今までに対面の機会はあったか

【内々定保有者限定】入社意思の最も高い企業の選考形式



<内々定保有者>

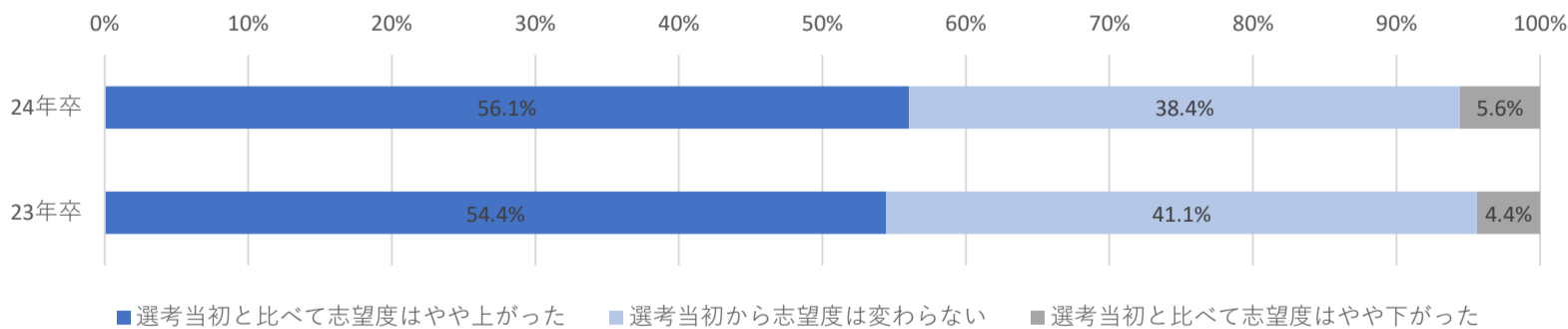
	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	2,674	1,677	997	533	1,144	478	519
個別企業説明会から最終面接まで全て対面	17.1%	20.1%	12.9%	18.6%	21.6%	10.7%	17.0%
個別企業説明会はWEBだったが1次面接以降は対面	14.2%	15.6%	12.1%	15.6%	15.6%	12.6%	11.4%
1次面接まではWEBだったが最終面接は対面	50.6%	51.2%	49.6%	53.1%	49.4%	49.0%	50.9%
個別企業説明会から最終面接まで全てWEB	18.1%	13.1%	25.3%	12.8%	13.4%	27.8%	20.8%

<23年卒>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	4,511	859	1,843	927	882
個別企業説明会から最終面接まで全て対面	15.0%	17.9%	16.2%	11.0%	14.1%
個別企業説明会はWEBだったが1次面接以降は対面	12.6%	14.0%	13.5%	11.3%	10.7%
1次面接まではWEBだったが最終面接は対面	46.1%	49.2%	49.9%	38.9%	45.2%
個別企業説明会から最終面接まで全てWEB	26.3%	18.9%	20.5%	38.7%	30.0%

3-(2) 入社意思の最も高い企業について、選考当初から志望度の変化はあるか

【内々定保有者限定】入社意思の最も高い企業における、志望度の変化



<内々定保有者>

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	2,694	1,687	1,007	540	1,147	488	519
選考当初と比べて志望度はやや上がった	56.1%	56.9%	54.9%	55.0%	58.7%	55.1%	54.5%
選考当初から志望度は変わらない	38.4%	36.7%	40.7%	38.0%	35.5%	40.6%	40.8%
選考当初と比べて志望度はやや下がった	5.6%	6.4%	4.4%	7.0%	5.8%	4.3%	4.6%

<23年卒>

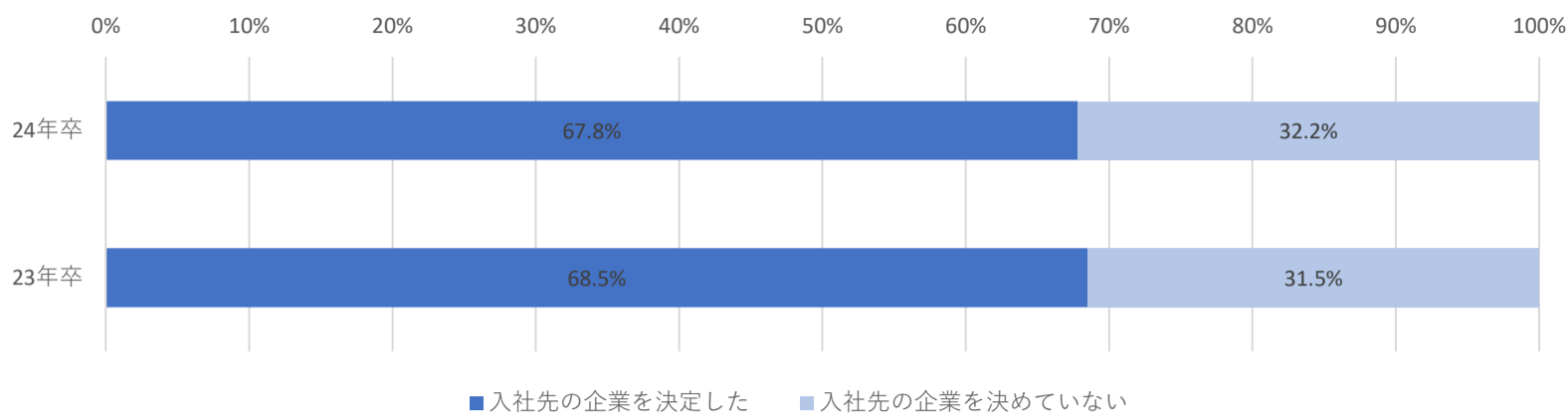
	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	4,548	871	1,854	935	888
選考当初と比べて志望度はやや上がった	54.4%	54.3%	58.9%	48.2%	56.9%
選考当初から志望度は変わらない	41.1%	41.9%	35.0%	48.4%	38.6%
選考当初と比べて志望度はやや下がった	4.4%	3.8%	6.1%	3.3%	4.5%

3-(3) 入社意思の最も高い企業について、選考当初から志望度が変化した場合

※資料後半(別シート)をに記載

4-(1) 現時点で入社先の企業を決定しているか

現時点で入社先の企業を決定しているか



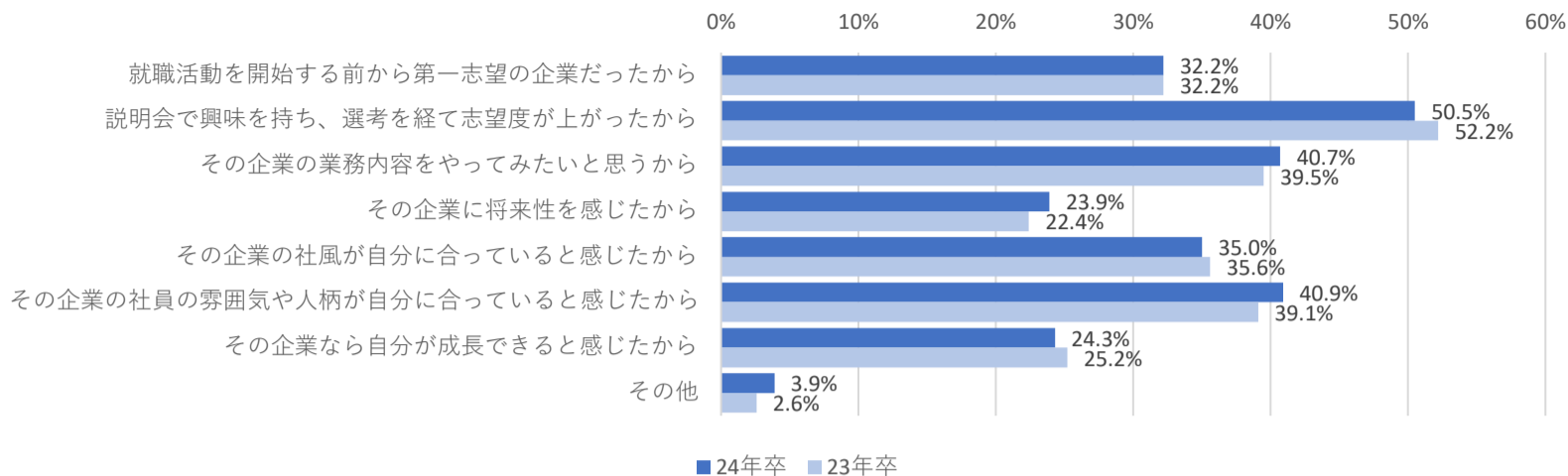
<内々定保有者>

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	2,736	1,716	1,020	547	1,169	492	528
入社先の企業を決定した	67.8%	60.6%	78.1%	63.1%	58.3%	79.9%	74.8%
入社先の企業を決定していない	32.2%	39.4%	21.9%	36.9%	41.7%	20.1%	25.2%

<23年卒>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	4,585	881	1,864	942	898
入社先の企業を決定した	68.5%	63.2%	59.1%	82.6%	72.0%
入社先の企業を決定していない	31.5%	36.8%	40.9%	17.4%	28.0%

【入社先の企業を決定した人限定】入社先企業を決められた理由



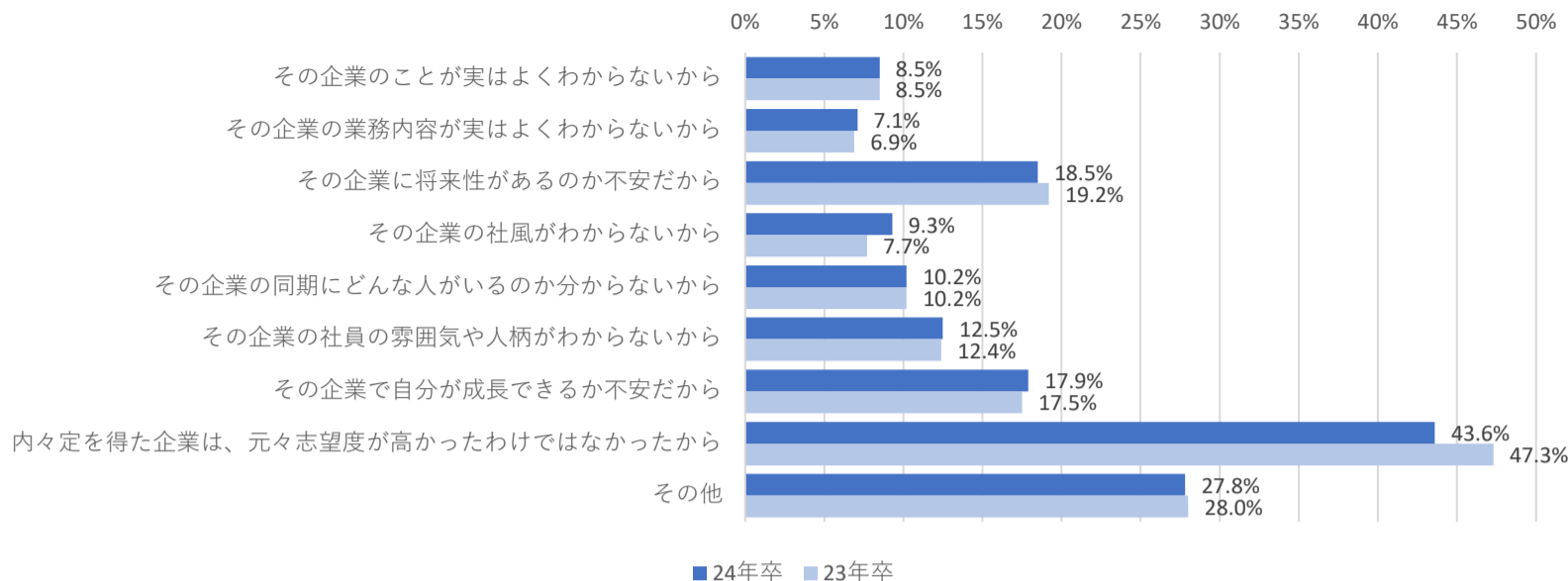
<内々定保有者>

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	1,812	1,025	787	345	680	392	395
就職活動を開始する前から第一志望の企業だったから	32.2%	28.7%	36.1%	31.3%	25.9%	38.5%	31.6%
説明会で興味を持ち、選考を経て志望度が上がったから	50.5%	52.3%	48.6%	48.1%	56.6%	46.9%	51.9%
その企業の業務内容をやってみたいと思うから	40.7%	40.0%	41.5%	40.9%	39.1%	43.4%	38.0%
その企業に将来性を感じたから	23.9%	22.4%	25.6%	26.1%	18.5%	28.1%	21.0%
その企業の社風が自分に合っていると感じたから	35.0%	35.2%	34.7%	34.2%	36.2%	33.2%	37.7%
その企業の社員の雰囲気や人柄が自分に合っていると感じたから	40.9%	42.6%	39.0%	38.0%	47.5%	35.5%	45.8%
その企業なら自分が成長できると感じたから	24.3%	24.6%	24.0%	25.5%	23.7%	22.7%	26.6%
その他	3.9%	4.0%	3.8%	3.8%	4.3%	3.8%	3.8%

<23年卒>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	3,075	554	1,100	775	646
就職活動を開始する前から第一志望の企業だったから	32.2%	33.2%	26.7%	36.5%	30.8%
説明会で興味を持ち、選考を経て志望度が上がったから	52.2%	50.0%	58.9%	48.3%	53.3%
その企業の業務内容をやってみたいと思うから	39.5%	33.2%	42.3%	40.3%	44.1%
その企業に将来性を感じたから	22.4%	20.6%	20.5%	24.8%	23.5%
その企業の社風が自分に合っていると感じたから	35.6%	36.1%	40.6%	30.5%	37.2%
その企業の社員の雰囲気や人柄が自分に合っていると感じたから	39.1%	37.4%	48.5%	30.7%	44.3%
その企業なら自分が成長できると感じたから	25.2%	24.5%	26.7%	23.0%	28.6%
その他	2.6%	2.2%	3.5%	1.9%	3.6%

【入社先の企業を決められていない人限定】入社先企業を決められていない理由



＜内々定保有者＞

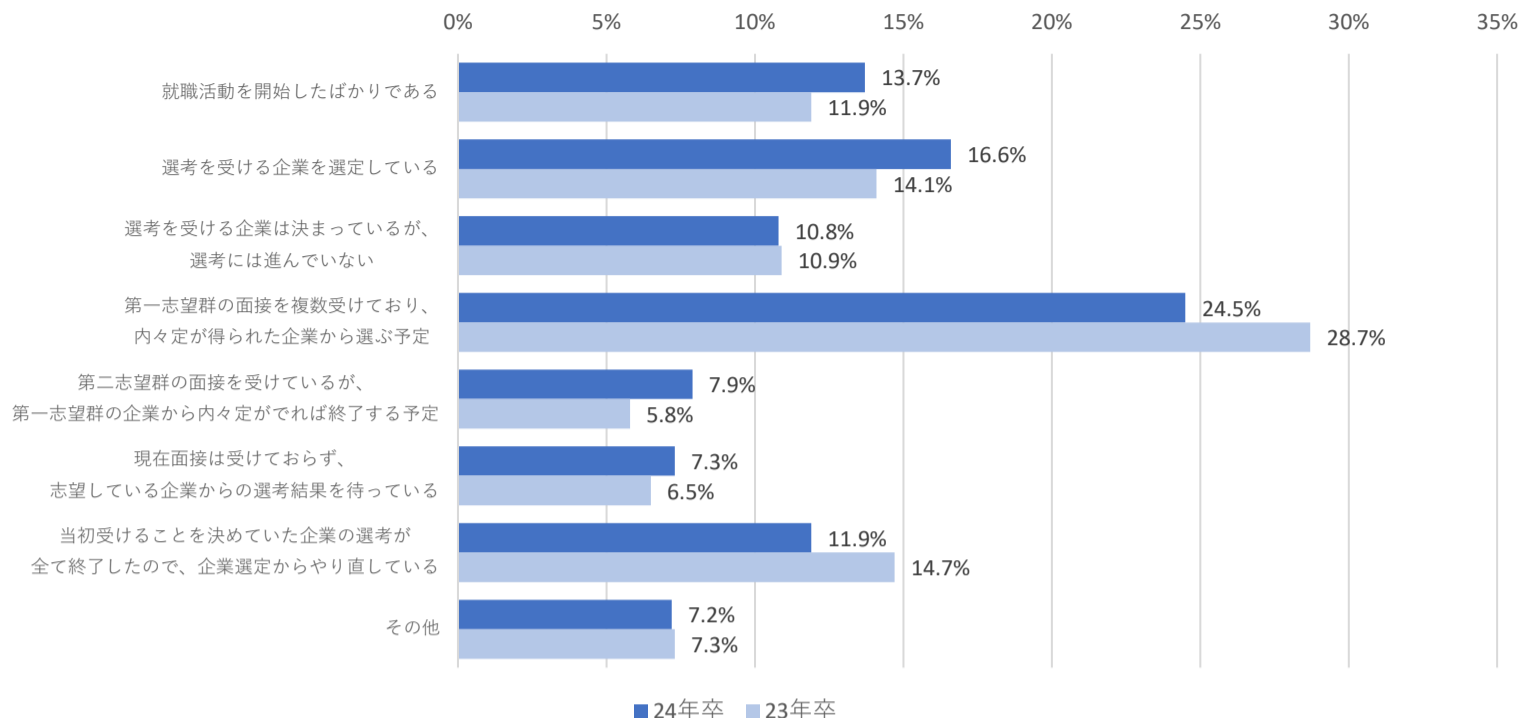
	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	895	666	229	197	469	98	131
その企業のことが実はよくわからないから	8.5%	7.9%	10.0%	9.1%	6.8%	13.3%	5.3%
その企業の業務内容が実はよくわからないから	7.1%	7.3%	6.7%	6.6%	7.9%	8.2%	4.6%
その企業に将来性があるのか不安だから	18.5%	19.0%	17.4%	19.3%	18.8%	18.4%	16.0%
その企業の社風がわからないから	9.3%	8.3%	11.9%	7.1%	9.4%	14.3%	8.4%
その企業の同期にどんな人がいるのか分からないから	10.2%	10.7%	9.1%	11.2%	10.2%	12.2%	4.6%
その企業の社員の雰囲気や人柄がわからないから	12.5%	11.3%	15.3%	10.7%	11.9%	16.3%	13.7%
その企業で自分が成長できるか不安だから	17.9%	17.3%	19.5%	18.3%	16.4%	20.4%	18.3%
内々定を得た企業は、元々志望度が高かったわけではなかったから	43.6%	42.5%	46.3%	42.6%	42.4%	42.9%	51.1%
その他	27.8%	28.1%	26.9%	24.9%	30.9%	27.6%	26.0%

＜23年卒＞

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	1,469	314	749	160	246
その企業のことが実はよくわからないから	8.5%	9.9%	8.1%	6.9%	7.7%
その企業の業務内容が実はよくわからないから	6.9%	6.4%	7.9%	5.6%	6.5%
その企業に将来性があるのか不安だから	19.2%	19.7%	18.4%	18.8%	20.7%
その企業の社風がわからないから	7.7%	7.3%	8.0%	4.4%	11.8%
その企業の同期にどんな人がいるのか分からないから	10.2%	9.9%	10.7%	10.0%	9.8%
その企業の社員の雰囲気や人柄がわからないから	12.4%	12.4%	12.4%	8.8%	16.3%
その企業で自分が成長できるか不安だから	17.5%	17.5%	17.4%	20.0%	15.0%
内々定を得た企業は、元々志望度が高かったわけではなかったから	47.3%	46.2%	49.0%	45.6%	47.2%
その他	28.0%	27.1%	28.4%	28.1%	28.9%

※資料後半(別シート)をに記載

【未内々定者限定】就職活動の進行状況



<未内々定者>

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	839	627	212	215	412	106	106
就職活動を開始したばかりである	13.7%	13.6%	13.9%	13.0%	14.3%	11.3%	18.9%
選考を受ける企業を選定している	16.6%	16.9%	16.1%	17.7%	16.0%	15.1%	17.9%
選考を受ける企業は決まっているが、選考には進んでいない	10.8%	10.8%	10.9%	9.8%	11.9%	13.2%	6.6%
第一志望群の面接を複数受けており、内々定が得られた企業から選ぶ予定	24.5%	26.0%	20.7%	25.1%	26.9%	23.6%	15.1%
第二志望群の面接を受けているが、第一志望群の企業から内々定ができれば終了する予定	7.9%	8.0%	7.8%	7.9%	8.0%	8.5%	6.6%
現在面接は受けておらず、志望している企業からの選考結果を待っている	7.3%	7.4%	6.9%	8.8%	5.8%	6.6%	7.5%
当初受けることを決めていた企業の選考が全て終了したので、企業選定からやり直している	11.9%	12.1%	11.3%	13.5%	10.7%	10.4%	13.2%
その他	7.2%	5.2%	12.3%	4.2%	6.3%	11.3%	14.2%

<23年卒>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	1,620	369	786	235	230
就職活動を開始したばかりである	11.9%	13.3%	10.8%	12.3%	10.4%
選考を受ける企業を選定している	14.1%	14.1%	15.1%	12.8%	13.5%
選考を受ける企業は決まっているが、選考には進んでいない	10.9%	12.2%	10.4%	9.8%	10.4%
第一志望群の面接を複数受けており、内々定が得られた企業から選ぶ予定	28.7%	30.9%	27.6%	27.7%	27.4%
第二志望群の面接を受けているが、第一志望群の企業から内々定ができれば終了する予定	5.8%	4.6%	7.3%	5.1%	5.7%
現在面接は受けておらず、志望している企業からの選考結果を待っている	6.5%	4.6%	7.8%	6.0%	9.1%
当初受けることを決めていた企業の選考が全て終了したので、企業選定からやり直している	14.7%	14.1%	16.8%	13.2%	12.6%
その他	7.3%	6.2%	4.2%	13.2%	10.9%

5-2) あなたが注力し、その結果として内々定につながったと思う活動(最も当てはまるもの1つ)

<内々定保有者>

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	2,716	1,705	1,011	546	1,159	488	523
自己分析	33.9%	34.9%	32.4%	35.2%	34.7%	30.3%	36.1%
業界研究	10.1%	10.5%	9.6%	11.9%	9.1%	11.1%	6.9%
仕事研究	6.7%	7.0%	6.3%	7.1%	6.9%	5.5%	7.6%
ES対策	5.9%	4.8%	7.6%	4.8%	4.7%	9.0%	5.2%
面接対策	22.3%	23.9%	20.0%	22.7%	25.0%	19.7%	20.5%
情報交換(友人、家族などの)	2.1%	1.6%	2.7%	1.1%	2.1%	2.9%	2.5%
情報収集(オンライン上での)	6.3%	6.7%	5.8%	7.1%	6.2%	5.1%	7.1%
準備期間での積極的な活動(インターンシップ・ワンデー仕事体験参加)	8.3%	5.8%	11.7%	5.3%	6.3%	12.1%	11.1%
活動量の多さ(セミナー参加、OB・OG訪問など)※インターンシップ・ワンデー仕事体験参加を除く	4.4%	4.8%	3.9%	4.8%	4.9%	4.3%	3.1%

<23年卒>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	4,546	873	1,854	932	887
自己分析	36.3%	39.7%	36.1%	34.5%	33.1%
業界研究	9.4%	10.5%	8.1%	9.5%	9.1%
仕事研究	6.4%	6.0%	6.6%	6.7%	6.5%
ES対策	4.5%	3.7%	4.0%	6.4%	3.5%
面接対策	24.4%	24.2%	24.9%	23.1%	26.4%
情報交換(友人、家族などの)	2.4%	2.1%	1.7%	3.2%	3.2%
情報収集(オンライン上での)	5.2%	4.0%	6.0%	5.4%	5.4%
準備期間での積極的な活動(インターンシップ・ワンデー仕事体験参加)	7.5%	5.7%	7.8%	8.2%	9.4%
活動量の多さ(セミナー参加、OB・OG訪問など)※インターンシップ・ワンデー仕事体験参加を除く	3.9%	4.1%	4.7%	3.0%	3.4%

5-3) その活動を選んだ理由

※資料後半(別シート)をに記載

5-4) 【全員】コロナ禍の影響について、面接で聞かれたことの中で答えようがなかったことがあれば全てお選びください。(複数選択)

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	1,858	1,315	543	458	857	277	266
学業・研究活動・ゼミ活動について	24.7%	25.3%	23.5%	28.4%	21.8%	25.3%	19.9%
サークル活動について	49.1%	52.1%	42.8%	53.1%	51.1%	44.0%	40.2%
部活動について	27.0%	28.1%	24.5%	31.7%	24.3%	24.5%	24.4%
海外留学について	29.4%	30.6%	26.9%	27.5%	34.0%	23.8%	33.1%
インターンシップについて	11.9%	11.7%	12.2%	12.2%	11.2%	12.3%	12.0%
アルバイト経験について	18.9%	18.5%	19.7%	20.3%	16.5%	22.7%	13.5%
ボランティア活動について	14.8%	15.3%	13.8%	14.2%	16.6%	13.7%	13.9%
資格取得(Wスクール)について	7.6%	7.7%	7.3%	9.4%	5.8%	7.6%	6.8%
趣味・特技について	10.4%	10.1%	11.0%	9.8%	10.5%	11.2%	10.5%
学生時代に打ち込んだことについて	23.5%	23.3%	23.8%	25.1%	21.4%	24.2%	22.9%
最近感動したことについて	8.7%	8.6%	8.9%	9.0%	8.2%	9.4%	7.9%
その他	6.3%	6.4%	6.1%	6.8%	6.1%	6.9%	4.5%

5-5) 【インターンシップ・仕事体験に参加した方】どのような活動が現在の活動に活かされたと思いますか

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	2,929	1,889	1,040	617	1,272	504	536
会社見学・工場見学・職場見学	27.2%	21.8%	35.5%	21.9%	21.7%	37.7%	31.5%
実際の現場での職場体験	16.0%	13.6%	19.6%	13.8%	13.4%	20.8%	17.4%
ロールプレイング形式の仕事体験	15.2%	17.5%	11.8%	18.6%	16.3%	11.5%	12.3%
実際の仕事のシミュレーション体験	16.5%	18.5%	13.3%	18.3%	18.7%	12.9%	14.0%
グループワーク	37.4%	41.7%	30.8%	43.1%	40.3%	30.4%	31.7%
人事や社員からのレクチャー	22.5%	23.4%	21.0%	24.0%	22.9%	21.4%	20.1%
若手社員との交流会	38.6%	35.8%	42.8%	33.5%	38.1%	42.5%	43.5%
その他	2.7%	3.0%	2.3%	3.2%	2.8%	2.4%	2.1%
インターンシップ・仕事体験に参加したことはない	14.6%	15.0%	14.0%	15.2%	14.9%	14.7%	12.7%

5-(6) これまでの就職活動に対しての「納得感」について

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	3,645	2,391	1,254	783	1,608	608	646
十分に納得できる就職活動ができている	28.3%	24.0%	35.2%	24.8%	23.2%	36.7%	32.7%
ある程度納得できる就職活動ができている	40.4%	40.3%	40.4%	39.1%	41.6%	39.0%	42.9%
どちらともいえない	14.5%	16.0%	12.1%	15.8%	16.2%	12.0%	12.2%
あまり納得できる就職活動できていない	11.9%	14.0%	8.4%	13.5%	14.6%	8.1%	9.1%
まったく納得できる就職活動できていない	4.9%	5.6%	3.9%	6.8%	4.5%	4.3%	3.1%

<23年卒>

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	6,281	1,268	2,680	1,193	1,140
十分に納得できる就職活動ができている	31.1%	31.0%	24.5%	37.5%	34.6%
ある程度納得できる就職活動ができている	38.5%	36.7%	39.6%	38.1%	40.9%
どちらともいえない	14.6%	14.9%	16.9%	12.5%	12.1%
あまり納得できる就職活動できていない	11.1%	11.2%	13.8%	8.2%	9.6%
まったく納得できる就職活動できていない	4.8%	6.2%	5.1%	3.7%	2.8%

5-(7) 【全員】一般的な会社員の給与について、知っているものをすべてお選びください。

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	23年卒
回答数	3,645	2,391	1,254	783	1,608	608	646	5,483
額面の支給額から、税金と社会保険料などを差し引いたものが手取りとなる	88.7%	87.0%	91.6%	85.2%	88.7%	92.9%	89.2%	87.8%
差し引かれる税金には、主に所得税と住民税がある	58.6%	55.9%	62.8%	60.5%	51.2%	69.1%	51.5%	57.5%
住民税が差し引かれるのは、入社2年目からである	39.7%	36.8%	44.2%	41.5%	32.1%	46.9%	39.5%	28.3%
社会保険料には、健康保険、介護保険、厚生年金、雇用保険、労災保険などがある	53.6%	52.5%	55.4%	51.7%	53.2%	58.4%	50.0%	53.0%
社会保険料は、3月～5月の給与等支給額によって決定される	17.3%	15.5%	20.1%	17.1%	13.8%	22.2%	16.4%	12.9%
毎月の給与から一定額を自動で天引きして積み立てる「財形貯蓄」という仕組みがある	28.9%	27.7%	31.0%	28.9%	26.5%	33.4%	26.6%	27.3%
民間の保険(生命保険、火災保険など)に加入して支払った保険料の一部は、年末調整で還付される	17.4%	17.6%	17.2%	18.8%	16.4%	17.1%	17.3%	20.1%
固定残業代とは、毎月一定の時間外労働分の残業代が支給され、実際の時間外労働がその一定の時間を下回っていても支給される。	56.1%	56.5%	55.4%	51.1%	61.9%	55.4%	55.4%	-
昇給には毎年行われる定期昇給のほか、会社の業績や個人の成績に応じて行われる考課昇給などがある	32.6%	32.3%	33.1%	31.9%	32.6%	34.2%	31.1%	-
知っているものはない	4.7%	4.9%	4.4%	5.2%	4.5%	3.6%	5.9%	6.4%

5-(8) 【全員】2023年4月から給与のデジタル払いが順次解禁されましたが、キャッシュレス決済などに関する立場として当てはまるものを選び

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	3,645	2,391	1,254	783	1,608	608	646
クレジットカード決済を利用している(したことがある)	65.1%	63.9%	67.2%	60.9%	66.9%	65.3%	70.6%
銀行のデビットカードを利用している(したことがある)	24.4%	25.2%	23.2%	24.6%	25.8%	23.7%	22.3%
電子マネー(交通系、流通系のICカードなど)を利用している(したことがある)	73.3%	72.5%	74.6%	67.2%	77.9%	71.4%	80.5%
QRコード決済やバーコード決済のアプリ等を利用している(したことがある)	69.4%	69.8%	68.8%	63.9%	75.7%	65.5%	74.8%
スマートフォンなどでの決済アプリ(ウォレット)を利用している(したことがある)	29.7%	28.3%	32.0%	28.7%	27.9%	33.9%	28.5%
キャッシュレス決済はほとんど行わず、現金での支払い・決済が中心である(これを選んだら他は選ばない)	8.4%	8.0%	9.2%	9.5%	6.5%	10.2%	7.3%

5-(9) 【全員】就職する企業でデジタル払いが導入されていると仮定した際、デジタル払いを選択すると思いますか。

	全体	文系	理系	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
回答数	3,645	2,391	1,254	783	1,608	608	646
デジタル払いを選択したいと思う	10.3%	10.1%	10.5%	11.2%	9.0%	10.7%	10.1%
選択するかどうかはわからないが、興味はある	40.3%	39.4%	41.7%	39.6%	39.2%	42.4%	40.2%
わからない	16.3%	17.1%	14.9%	17.4%	16.9%	14.3%	15.9%
選択しないと思う	33.2%	33.3%	33.0%	31.8%	34.9%	32.6%	33.7%

5-(10) その理由を教えてください。

※資料後半(別シート)にに記載

3-(3) 入社意思の最も高い企業について、選考当初から志望度が変化した理由

「志望度が上がった」と答えた理由

属性	内容
文系女子	インターンシップや一次面接はウェブで行われたのだが、その後の選考で実際に会社に赴くことになり、会社の雰囲気を肌で感じる事ができたため。
理系男子	エントリー後に話を聞く機会が多くあり、また同業他社等と面接などで比較していく中でデータや数字、インターネットの情報等とは違う、感覚的な面も知るようになっていき、自分との親和性を感じられたから。
文系男子	とりあえず受けるだけ受けてみようと思って出した業界大手の企業だったが、奇跡的にESが通り、そこから企業研究をしかり始めた結果、自分に合っていると感じた。また、面接官の方の雰囲気も合っていた。
文系女子	リクルーターの方や他の社員の方々との面談をしていくなかで、仕事内容や企業に対する理解度を高めることができただけでなく、自分自身が将来そこで働く姿を具体的に想像することにも繋がり、志望度が上がっていききました。実際に社員の方々とお話することは、パソコン上の情報と向き合っているだけでは分からない会社の雰囲気を肌で感じ、それが自分に合っているかどうかを見極められる、非常に貴重な時間であったと思います。
文系女子	一番最初に内々定を頂き、個別面談などサポートをたくさんしてもらったから。また、給与などの話も本音ベースで教えてくださり、志望度が高まった。
文系女子	会社見学や社員との座談会を通して、会社の雰囲気の良いさに魅力を感じたから。
文系女子	企業研究をするにつれて企業について深く知ることになり、そこで自分の性格ややりたいことに合っていそうだと理解したため、志望度が上がった
理系女子	元々その企業の製品が好きだから、というような理由で志望していましたが、内々定を受けてから実際に自分がその会社で働くとはどういうことなのか、大学の先生や色々な人に話を聞き、ただ魅力的な製品を作っている企業というだけでなく、働く環境としてもとてもいい企業だと思うに至ったからです。
理系女子	個人に合わせた職業体験ができたから。1日実際に社員の方と同行し、仕事のいい面も悪い面も見ることが出来たから。
理系女子	座談会や面接で社員さんと話す中で、人の雰囲気にひかれた。また、選考当初はなんとなくしわかかっていなかった企業研究が、選考とともに進んだことで、自分の就活軸と合っていたことに気づけたから。
文系女子	最終面接の時に、会社案内をしていただいたり、面接前に不安解消のための先輩社員との座談会がありました。その際に、その企業の裏側まで知ることができたので、志望度はより上がりました。
理系女子	最終面接後、入社後に活かせる長所や今後実現できることを1対1で伝えてくださり、より働くイメージを持ちやすくなったため。
文系女子	採用担当者の方の温かさ、社員の方の雰囲気
文系女子	自分自身が今頑張っていることをお話ししたら、否定したり懐疑的な雰囲気が一切なく応援してくれるような態度を示してくれたから。
文系女子	社員の方の人柄に触れたことで社風が自分に合っていると感じたことに加え、選考を受ける中でありのままの自分を評価してくれたことが嬉しかったため、志望度が上がった。
文系男子	社長や取締役の方と面接をして、対面で直接お話を伺ったことで、企業の進む方向や価値観により共感し、志望度が上がった。
文系女子	人事の方の人柄がとてもよく、内々定の連絡を頂いた際に正直に「就職活動を続けます」と言っても快く「応援している、何か困ったことがあれば相談に乗る」と言ってくれたため、雰囲気の良い会社なのではないかと思いついたから。また、選考の難易度が低く滑り止めの気持ちだったが、よく考えると規模も大きく安定性のある大企業なのでは？と考え始めたから。
文系女子	説明会では感じられなかった会社の良さが、インスタグラムやYouTubeなどを拝見してより感じる事ができたため。
文系女子	説明会や面接を通してであらう社員の皆様の雰囲気が良かったので、この方々と働いていきたいと思うようになりました。また、人事の方々のサポートが手厚かったのも、入社後のキャリア形成などがしやすい環境にあるのではないかと考えるようになりました。さらに、社員の皆様とお話をするうちに、働くイメージがより具体化されたのも、志望度が上がった理由の1つです。
文系男子	選考が進むなかで、職員の人柄や同期の人たちの様子などを見て、彼らとなら上手いきそうだと感じたから。
理系男子	選考ステップにリクルーター面談が2回あり、実際に働かされている社員の方のお話を聞いて研究内容が活かされると感じ、志望度が上がったからである。
文系女子	選考の過程で、さまざまな社員に出会い話を聞いていくうちに、その会社でなら自分のやりたいことをできるかもしれないと感じたから。また、集団面接で同じグループになった他の学生と気が合うことが多く、入社後に良い関係を築きながら働けるのではないかと考えたから。
理系男子	選考を受けている途中や内々定獲得後の説明会などで会社の福利厚生や、社員間の雰囲気を教えてもらえる場が設けられていたため、不安だったことが払拭されたから。また、その説明内容が想像していたよりも待遇がよく、自分に合っていることがわかったため。
文系男子	選考中もフィードバックやバックアップがあり、自分自身の事を見てくれているように感じたから。
理系男子	内々定を得た後にフィードバック面談や内定者交流会など色々なイベントが多く開かれたから。自分の不安・疑問に思っていることを話すことができた。
文系女子	面接官(=将来上司となる人たち)の人柄が自分に合っているのではないかと感じたから。

「志望度が下がった」と答えた理由

属性	内容
文系女子	ネットで元社員や社員の口コミ情報を知るたびに志望度が下がった。
文系女子	実際の働いている場を初めて最終面接後に見て、思っていた環境とちがうと感じたため。
理系女子	連絡頻度が多く、時間帯も22:00過ぎる事もあり、会社として常識に欠けているのでは？と不安が増えてしまった。
理系女子	配属先の業務内容が自分のやりたいことと違うものに成りそうだから
文系男子	内々定承諾期限延長の電話を正直にしたときに、「次の人待ってるからそんなに待てないよ」って言われたんです。大企業なので、本音の部分では自分じゃなくてもいいんだなって思いました。
文系男子	内定ブルーという言葉もある通り、内定を得て安心した状況でその企業のことを考えると、悪いところが目につくようになったので。
理系女子	選考当初の記載と異なる配属先への配属になったため。(選考当初、志望していた業種は〇〇県への配属と決まっていたのに、内々定を得たときに「〇〇県の事業所は廃止になった」と言われ△△県への配属に変更されたため。)内々定後2日後以内に承諾するか否かを言うように企業に言われ、他社の選考を控えている状態で返答できなかったため。
理系男子	内定を頂く前は、その企業の良いところばかりに注目していたが、内定を頂きいざ入社するかどうか判断するとなると、その企業の自分に合わない部分に意識が向き、志望意欲が低くなってしまったため。

4-(4) 入社先の企業を決める上で不安なことはあるか(最終面接まで全てWEBだった学生)

「不安なことがある」と答えた理由

属性	内容
文系女子	会社に直接行っていないので雰囲気が分からないことは不安
理系男子	面接で顔を合わせることができる採用担当の方としか関わることができないため、社員や職場の雰囲気が分かりづらい。
理系女子	人事以外の社員の方と個別にお話できる機会がなかったため、実際にどのような仕事をするのかがまだよくわかっていない状態でそれが不安です。
文系女子	面接官が外国の方で直属の上司とかではなさそうなので、社風が正直全く分からず不安です。外資系企業へ就職するため、社風こそ日系企業とイメージが違うはずなのですがそれを知る手立てがほとんどなく教育体制もどういふものなのか未知な状況です。
理系女子	実際の企業の雰囲気があまりよく分からないため、人間関係や職場環境などに不安がある。
理系男子	実際に自身が働く際の環境や周囲の社員様の雰囲気を知りたいという気持ちからくる不安が大きいと感じています。そのためには対面での社員様との懇談会等のイベントを開催して下さると不安が少しでも小さくなるのではないかと考えています。
文系男子	社員同士の関係性や社内の雰囲気がWEBで伝えるには限界があるので本当に社風が良いのかわからない。
文系女子	オフィス環境がどのようになっているのかは気になりました。 (内々定承諾後、オフィスツアーがあったため、そこで解消はされました。)
文系女子	説明会で聞いた内容と実際の様子を見比べることが難しい。 しかし、地方遠方に住んでいるため、金銭面的に就活遠征が難しく、WEB面接を優先的に受けている。
文系男子	入社後もリモートワークが多いようなので、人間関係の構築に不安を覚える
文系女子	企業周辺の土地勘などが全くなく、面接も全部Webだったため今まで住んでいるところを離れて新しいところでやっていけるのか、やはり地元の企業の方がいいのか、といった不安があります。

「自己分析」と答えた理由

属性	内容
文系女子	自分の得意なこと、苦手なこと、やりたいこと、やりたくないことが実感を持ってはっきりとわかったため、企業選びがスムーズだった。
文系女子	せっかく書類選考に合格しても、面接で落とされてしまったことが多かったからです。振り返ってみると、就職活動開始直後は自分も含め就活性が自己分析が甘くても面接に合格することがありましたが、就職活動が後半戦になるにつれてどんどん自己分析をしているかが可否を分ける一番の要素になったと感じました。また、自己分析を行い、自分のことを知ったうえで面接に臨むと、変化球の質問にも答えやすくなりました。
文系女子	自己分析をすることで、過去から現在の自分を改めて理解することが出来たため、面接で不意に聞かれた質問にも、ストーリー性をもって話すことができたから。
文系女子	自分のことをしっかりと調べたおかげで、ESや面接で伝えることができたから
文系女子	面接中の質問で「失敗経験」「課題となった経験」の両方を聞かれ、自己分析をしていなかったらどちらも同じエピソードを話していたと感じているから。細かい深堀りや沢山の質問を聞かれたので過去のどんなちっぽけな経験でも思い起こしていたことで面接時にスムーズに回答することができた。また自己分析でどんな強みが仕事に直接活かせるか知っていたことで、自分が面接を受けた企業にふさわしいと熱意をアピールできた。
理系女子	結局自己分析をしないと「ただ内定を追いかけるだけの就活」になってしまうからです。自己分析という土台を作りESや面接に反映させるのは非常に時間がかかりました(内定だけを目標にする就活なら小手先のテクニックを使えば良いです...)。しかし、効果・結果が出るまでに時間がかかる分、相性の良い企業に出会いやすくなり選考に(いわゆるブラック企業でない限り)通過する企業の精度が高くなったと思います。特に面接で自己分析が役に立ちました。対策のしていなかった質問でも焦る必要がなく、自己分析で分かったありのままの自分を伝えれば良いだけだからです。それで選考に落ちたら相性が悪かったんだと思うように考えられました。
文系男子	自身の性格や言動、過去の様々な経験から、自分が生涯を通して何をしたいのか、何が好きなのか、どのような作業・業務が向いているのかといった傾向の理解、業界・企業選びの基準等につながったと感じるため。また、そこから自己PRや志望動機、人生における目的、入社後に取り組みたいことといった軸につながったと感じるため。
文系女子	もちろん他の項目もすべて大切だと感じますが、面接やエントリーシートではいかに自分を理解し、自分の言葉で自分の説明ができるかによって、自分の就職活動への納得感に違いが出ると思いました。自分を曝け出した上で合う企業合わない企業を判断できます。
文系女子	自己分析をすることは、企業研究や仕事研究、面接対策ES対策の元になるもので、一番必要になってくるものだから。これがしっかりとできている必要があると思った。
理系女子	面接を数々受けてきて、入社後にやりたいことを聞かれるよりも学生時代に何をしてきたか、どのように周りの人と関わり、何を考えて行動してきたか、どんな経験を積みそこから何を学んだのかなど自分の経験や性格に関する話を聞かれることが多いと感じたため、自己分析を通して自分の経験や考えを整理し、性格を把握することが大切だと感じたから。
理系男子	自己分析を進めることで、「どのような仕事がしたいか」「好きだったことはなにか」「どういう未来をめざしているか」など、就職活動を進める際に業界や仕事を選ぶうえで必要な要素が見つかるため。

「業界研究」と答えた理由

属性	内容
理系女子	職種への理解について、思っていたほど面接で問われなかった。どちらかといえば志望動機や業界の現状についての分析について問われていた。
文系男子	なぜ業界の中でその企業を選んだかを明確にする際に、同業他社のことを知る大切だと考えたから。
文系男子	業界の問題点や課題などから、自分がそれに対してどう取り組みたいかを考え、ESや面接の内容に繋げていたから。
文系女子	その業界について、ユーザー観点だけではなく仕事としての苦労点などにも目を向け、さらに会社として利益を上げているその仕組みなどまでしっかりと研究しました。これが、面接でのスムーズな回答に繋がって、内々定を得られたのではないかと思います。
文系女子	自己分析も同等に大切だと思いますが、自分がその企業でしたいことをできるかどうか話せ、面接官の方に納得していただけるかが一番大切だと考えている為です。
文系女子	業界研究をすることで、選考に進むか否かの判断基準を得ることができた。また、業界研究に一度失敗しており、全く違う業界に移行して就活を始めた経緯があり、もっと早くから業界研究を行い、企業ごとの分析までをこなしておきたかったと思うから。
文系男子	「なぜこの業界?」「なぜ弊社?」という質問が最も重要視されていると感じたから。
理系男子	自分がこれまで学修した知識や興味を持っていたことに関連した企業を見つけ出すことができ、その熱意を選考にて伝えることで内定をいただくことができたと感じたからです。
文系女子	業界の内情や展望、競合他社について知ることで志望動機も固めやすく、ESや面接でも役立つから。
文系男子	ビジネスモデルや業界の流れをおさえれば、求められる力など逆算的にわかるから。
文系女子	企業の求めている人物像に近いことをアピールしたかったため、業界研究に一番力を入れた。IR情報や企業の今後の目指す目標やどのように成長してきたかなど抜かりなく調べた。また自分の就職活動の軸と企業理念が一致しているかも確認することが大切だと思った。

「仕事研究」と答えた理由

属性	内容
文系女子	(仕事研究を通じて)仕事内容や扱う商材について自分が興味を持って調べられた(勉強できた)ことで、実際に勤務する際にも興味や面白さを持って働き続けられるのではないかと考えたから。働く上でのモチベが分かった。
理系女子	自己分析はもちろん、仕事研究に力を入れたことによって、キャリアを聞かれた時にスムーズに答えることが出来た
文系女子	志望職種の具体的な仕事内容について調べておくことで、面接官に対して入社後の活躍イメージを抱かせることができたと思ったから。
文系女子	面接が進むにつれてどんな仕事をしたいのかという質問や10年後のキャリアプランを聞かれるから。
理系男子	会社の仕事研究をすることで会社と自分の相性を確認したり、選考においてはじかれる可能性を低くできると思うからです。面接やエントリーシートでは、会社の課題や現在推進していることに対して私がどのように取り組めるのかを順序立てて記述しました。結果、内定後の面接官からのフィードバックでは面接やエントリーシートの内容から私と会社の相性が良いと確認できたため、採用したとのことでした。ミスマッチを避けるためにも会社の仕事研究は重要だと思います。
文系女子	逆に、仕事への理解度が低かった企業の選考にはことごとく落ちたので。人事の方にも、最終面接のポイントは仕事への理解度ですと明言された。
理系女子	同じ業界でも行っている仕事内容は少し違うので、その分析が面接でも役立つと思います。
文系男子	仕事を理解し、キャリアプランを詳細に話したことで内定に繋がったと考えるから。

「ES対策」と答えた理由

属性	内容
文系女子	大学のキャリアサポートセンターを3年夏より定期的に利用し、ガクチカ・自己PRを作成していたことから就職活動がスムーズに進んだように思うため。
文系男子	面接には自信があったが、エントリーシートに関しては文章で自分を売り込む必要があり、より時間をかけて推敲しなければならぬと感じたため。
理系男子	そもそも、esをうまく書けていないと次に進むことができない点と、面接の際にesに書いている内容から聞かれることがあるため、それがうまく話せることが内々定につながりやすいと感じたため。
文系女子	面接官の方がESの内容に食いついて、深掘りの質問を多くしてくれたから。
理系男子	エントリーシートを就活支援の方に添削してもらったり、詳しく掘り下げてもらったり、それらを繰り返したため。エントリー対策を繰り返したことが、エントリー対策だけでなく自己分析対策や面接対策にもなった。
理系男子	就職課で指導されて定型的なESをやめ、自身の個性を良い面悪い面を含め理解して頂くことにした。それが、面接を乗り切るために必要だと考えたため。

「面接対策」と答えた理由

属性	内容
文系女子	どれだけ自己分析や業界研究などをしても、それをうまく言語化して、初対面の方に伝えられないと面接官には何も伝わらない。
理系女子	ポイストレーニングに通い、自身の話すときの悪癖を改善することで、面接の通過率が上がったと思うから。
理系女子	はじめは付け焼き刃で面接に取り組んでいたが、就活初期は1次面接で落ちていたので、自分で改めてもう一度自己分析から志望動機など基本的なところから、他己分析までしたことで自分を俯瞰で見ることができ、自分の話したいことを整理して面接で伝えることができたから。
文系女子	大学のキャリアセンターを活用した模擬面接など、積極的な面接対策を行ってからの方が面接通過率が上がったと思うため。内定をいただいた企業も人気で不安だったが、最終面接に向けて2回キャリアセンターを活用した面接対策を行ったので内々定を得られたのだと思う。
文系女子	面接対策として、面接でよく聞かれることを把握し、それを元に企業研究と自己分析を深掘し、自分自身の価値観を明確にして面接に挑みました。そのため、どんな質問が来ても焦らずに答えることができました。これが内々定に繋がったと感じます。
文系女子	面接の1日前にガクチカと自己PR、志望動機だけ自分でzoomを開いて自分の顔を見ながら練習。あとはロコミで質問されていたことを練習していた。面接後には聞かれたけどうまく答えられなかったところを補う。ESさえ受かってしまえば、あとは面接勝負なので、とにかく面接に気合を入れていた。私自身自己分析を深くできていなかったのに後悔しているが、上記のことをやればある程度自己分析や戦略が立てられてくるように感じた。
文系男子	面接が1番大事だと思ったから。その企業の選考を受けたロコミや、企業について調べて頭の中でシミュレーションをした。自分の言葉で話すことを重視している企業だったので、実際の模擬面接というのはやらなかった。
文系女子	面接は、練習すればするほど、本番で落ち着いて受け答えができる、心に余裕を持って挑むことができると思ったため。
文系女子	二次面接、最終面接で落ちてしまうことが多く、志望度の高さをいかに出すかということに注力した結果、内々定につながったと感じるため。
文系女子	面接官のタイプを瞬時に判断し、そのタイプに合わせて回答する練習をし、本番で変わった面接官にあたっては普段通り対応できたから。
理系男子	ESでいくら自分自身をごまかせたとしても、結局は面接でありのままの自分を見せる・見ってもらうことになるので、自分の人柄ができる限り伝えるように面接の対策を行いました。
文系女子	面接は慣れたと言うのが本当にそうだと感じる。回数を重ねる毎に予想外な質問にも対応できるようになったから。
文系女子	全く最初は一次面接落ちばかりでなかなかうまく行きませんでした。しかし、面接練習をしたことで悪いところも理解できて次に繋げることができました。また、主張した方がいいこと言葉の言い換えなどを教えていただいたので絶対やった方がいいです。
文系女子	サービス業を志望していることから、会話を意識した面接練習を行ったことで、コミュニケーション能力が高いと評価された。
文系女子	何度も練習するほど自信が付き、本番も慌てることなく答えることができたため。

「情報交換(友人、家族などとの)」と答えた理由

属性	内容
理系男子	気持ちが沈んでしまった時に、友達に相談して、回復したため。
文系女子	家族からはどんな企業が良いかの基本的なことを、友人からはエントリーシートや面接の対策について話し合うことができたので、自分の就活での行動の指針になった。自分だけで調べたり、企業の方の話だけ信用するよりも周りの経験がある人から聞いた話の方が信憑性があったように思う。よって、身近な人との情報交換が一番内々定につながったと思う。
文系女子	姉から就活に関する情報を得ることが多かった。ESの改善点を教えてもらったり、面接で用意しておいた方が良い回答などを聞いたりできたのが1番役に立ったと感じている。
理系男子	一度、選考を落ちたので、次社を探すために友人と情報交換したことで現在内定をもらった企業の内定をいただけることになったため。
理系男子	受験は団体戦というように、ゼミのメンバーで就活は団体戦だという理念を掲げてみんなで助け合うことで良い結果が生まれると考えたから
理系女子	実際に就職している方や、就活をした先輩、周りの友達との情報共有がかなり大切だと感じた。
理系女子	昨年その企業を受けて現在働いている先輩からのアドバイスがとても心強かったため。
理系男子	友人との情報交換を通して、面接対策やES対策をもらい、アドバイスなどを得ることが出来たため。ひとりで就活をするよりも、友人の相談し合い、お互いに刺激しながら行う方がスムーズに進めることが出来たため。
文系女子	コロナ禍で先輩を作る機会がなく、先輩の話聞くことができなかったので友達などから情報をもらうしかないから
文系女子	自分一人だと行き詰まってしまうため、息抜きを兼ねた情報交換の機会を設けることで、悩みも解決することが出来る。

「情報収集(オンライン上での)」と答えた理由

属性	内容
文系女子	説明会でわかることはほんの一部だからです。企業の採用ページに多くの情報があるので、面接前はそれを活用して対策しました。
理系女子	どんな質問がされるのかや、企業文化などを調べて理解を深めておくことが面接を突破する上で大切だと考えていたから。
文系男子	中期経営計画や採用サイト等を通じて、事業内容が多岐にわたると共に、自分のやりたいことを見つけることが出来たため。
理系女子	最終面接前にその企業のプレスリリースなどを読み、何に注力しているのかを把握してから最終面接に臨めたことで、落ち着いて逆質問をすることができ、さらに逆質問の内容も面接官から高評価だったから。
文系男子	これまでに受けてきた人たちの経験談から、どんな質問がなされるかを知ることができたことが大きいと感じる。また、公式ホームページの内容をしっかりと勉強しておくことが最も重要だった。

「準備期間での積極的な活動(インターンシップ・ワンデー仕事体験参加)」と答えた理由

属性	内容
文系女子	見知らぬ人と話すことが苦手だったが、インターンシップに積極的に参加したことで徐々に慣れていき、それが面接などにもつながったと感じるため。
理系男子	インターンシップでの経験が大きかったと感じたため。対面式のインターンシップで、5日間に渡って実際の業務に関わらせていただいたことや、指導してくださった社員の方々からその部署の内情や、その社員さんが就活の時にどのようなことに気をつけたかなど、貴重な情報を収集できたと感じたため。
文系女子	インターンに多く参加したことで、情報的に比較対象ができ、経験も多く得た。それが、面接で話すことができたり、落ち着いてそのことを話せることにつながったから。
文系女子	インターンシップで企業について深く理解したからこそ面接で志望度の高さをアピールできたから。また、インターンシップで社員の方に顔と名前を覚えてもらうことができ、自信にもつながった。
理系男子	インターネット等で得られる情報には限りがあり、インターンシップでの経験や社員の人からしか得られないものがたくさんあると思ったため。
文系男子	インターンシップの参加について面接中に触れられたから。「〇〇さんはあのインターンシップに参加されていたということで、弊社の業務内容は少し体験いただけだと思うのですが…」的な。あとは準備期間での活動ということで、サークル活動などのガクチカ作りにも注力した。
文系男子	夏インターンには1dayも含めると20社以上参加していたため、インターンを通して自分がどのような仕事をしていきたいのか自己理解が深まったことはもちろん、インターンの選考過程でES作成をたくさん経験していたため、本選考時にESで落ちることはほほなかつたため。
文系女子	インターンシップを通じて自分が興味のある業界を見つけることができたから。今まで働くことのイメージがあまりなかったが、インターンシップに参加したことで仕事に就いての理解が深まり、社会勉強にもなったと思う。
理系女子	インターンシップなどを通して社会人の方々や関わった経験が、結果的に企業研究だけではなく自己分析や面接対策にも役立ったと思うから。

「活動量の多さ(セミナー参加、OB・OG訪問など)」と答えた理由

※インターンシップ・ワンデー仕事体験参加を除く

属性	内容
文系女子	イベントに出て人事の方に顔を覚えてもらったことがきっかけで選考が進んだように感じた。
文系女子	合同企業説明会に出れば必ず行ったり、質問したりと人事の方に顔を覚えてもらえるようにしたから。
文系女子	企業説明会は約120回、学校のキャリアカウンセリングは約30回以上参加した。非常に多くの人から多角的に意見を頂き、自分の中で、自己や業界・会社を様々な視点から考えることができた。面接を突破して内々定を獲得したというよりも、どのような質問が来ても困らない程度に自己分析、業界研究、企業研究、業界比較、他者比較、時事問題への意見などを考えていたということだと思う。
理系女子	OBOG訪問を1つの企業で10回以上行ったことで、その企業で活躍されている方の雰囲気を感じることができ、面接時にその雰囲気を纏わせて話したことが評価につながったと感じているから。また、会社に対する理解も深まってどんな質問をされても答えられるくらい、就活の軸が確立されたから。
文系男子	場数を多く踏むため対面の企業見学や参考に参加しまくったことが面接の上達や企業について研究する際の比較対象の層の多さに繋がったと思うから
理系女子	多くの会社を知ることで視野を広げ、エントリーシートを書き続けた結果、常に持ち駒が10個以上あったため精神の安定につながった。

「デジタル払いを選択したいと思う」と答えた理由

属性	内容
文系女子	ポイントがつくから。
理系女子	便利で、振り込まれた履歴が残るから。
理系男子	現金を持ち歩かなくてすみ、銀行でお金を下ろさなくても良くなるなどのメリットが大きいからである。
文系女子	現金を下ろす手間が省けるから。
理系女子	財布も持ち歩くことよりもスマホを持ち歩くだけで決済も連絡もとれるなら普段の荷物が軽減するし、バーコードひとつで決済できる方が楽で効率がいい
文系男子	社会におけるキャッシュレス化が進んでいるから。ただ、システムトラブルやサイバー攻撃等の不安は拭えないので、その点についてきちんと行政及び雇用企業に保証して頂きたいと思う。
文系女子	今すでに自分が9割キャッシュレスになっているため。
文系男子	現金をほぼ使っていない、クレジットやQR決済を頻繁に使うため。
文系女子	田舎に就職するため、近くに当該銀行のATMがない可能性があり、引き出し手数料を取られたくないため。
文系男子	自分は普段からキャッシュレス決済を多用しているから。しかし、キャッシュレス決済は利用できない店舗もあるので、そこは気をつけたい

「選択するかどうかはわからないが、興味はある」と答えた理由

属性	内容
文系女子	デジタル以外で給与の支払いをされた方が記録が実際にきちんと残る上に、文字で確認できるため安心できると思います。一方、デジタル払いだとより便利であるというメリットもありますが、情報管理やデータの損失が不安になる上に、本当にお金が振り込まれているのかという実感がなくともデメリットであると思います。そのため、デジタル払いは興味はありますが、選択するかはわかりません。
文系女子	興味はあるが、現在まだ現金でないと支払えないものもあるため選択するかは分からない。
理系女子	一部がデジタルとかだと便利だと思うが、セキュリティ面が不安
文系女子	日常生活のほとんどでデジタル決済を利用しているためデジタル払いの方が便利ではあるが、給与が実際に目に見えないことや、もしデジタル決済システムに不具合が生じた際、また携帯電話が壊れてデジタル決済が利用できなくなった際などに困るかもしれないと考えるため、デジタル払い導入について、興味はあるが選択するかどうか分からない。
文系女子	自分の好きな割合で選択できるなら面白いと思ったから。
理系男子	携帯大手会社やカード会社、通信会社など、これまで通信障害が何度も起こっている。作業が簡素化されるのでデジタルも良いとは思いますが、アナログとデジタルで連携させておきたいと思う。
文系女子	普段からキャッシュレス決済を利用することが多く、便利だと感じている。その一方で、家賃など現在口座からの引き落としを利用している部分が面倒にならないかが気になる点である。
理系女子	デジタル払いは給与の利用には便利だと感じるが貯蓄や資産運用のためには改めてお金を動かす手間がかかるのかなと感じたため。
理系女子	デジタル払いだとネット上でのトラブルが起きた際に引き出せなくなったりしそうで、セキュリティ的に信用できない部分があるから。また、ネット上ではお金を使う感覚が薄れるので、無駄遣いが増えそうだから。
文系女子	給料はやはり現金化して手に持ち、自分が1ヶ月間がんばって働いてきた量を可視化したいが、実際には電子マネーやコード決済をよく使っているのでも、直接自分のアカウントに入ったら、銀行のようにお金が必要ときに手数料がかからなくて便利なのではないか？と思っています。
理系男子	スマートフォンを用いたQRコード決済等で使用しやすいデジタル給与払いだが、各種通信キャリアのシステムエラー等によって問題が生じることが欠点としてある。そのような場合の対策が、デジタル後進国の日本でできるのか疑問を持っている。基本的に使用するお金は銀行に入れてクレジットカード決済やデビットカード決済を行うのが時代遅れではあるが安心感が高いと考えている。
理系男子	セキュリティ面がしっかりしていればありうる選択肢だと思う
文系女子	デジタル払いについて、詳しく知らないのですが、やはりお金は現金の方が貰えた感があるので好きです。また、あまりデジタル機器に頼りすぎると、停電や災害が起こった時に大変なことになるので、デジタルにしなくてもなんとかなる業務は、デジタル化せずこのままの方が良いと考えています。
理系男子	詳細を見て利便性が高ければ選択したい。ただ現状は光熱費やクレジットカードなどの口座振替の支払いがあるので、すべての金額が直接キャッシュレス決済アプリに入ると困る。
文系男子	キャッシュレス決済の簡便さを享受してきた人間のため、興味はある。一方で全てをキャッシュレスにするリスクや不便さも認めているため、もう少し情報を収集したい。
理系男子	キャッシュレス決済は使える店が限られているのが現状ではあるが、特定の店舗では還元率が高くなるメリット等もある。全額ではなく一部を決済アプリの残高として受け取れるのであれば検討の余地があると考えているから。
文系女子	初任給が通帳に記帳される、という経験をしたい。デジタル払いの便利さと危うさを天秤にかけると、まだ知らないことが多いので不安の方が大きい。
理系男子	全てデジタルに取って変わった場合、システムダウンが起きた際にどうしようもないため、多少の現金を持ち歩くべきと考えているから。

「わからない」と答えた理由

属性	内容
理系男子	メリットやデメリットに関して知らないことが多いため。
文系男子	デジタル払いと現金払いの両立を図っていきと思います。なぜなら、デジタル払いに対応できていないお店や施設も存在するからです。世間的には、デジタル技術の進歩が話題になっていますが、私の近所の施設などはまだまだ現金払いを行っているところがほとんどです。なので、両立を図っていきと思います。
文系女子	お店によって使える決済方法が違うので、完全にデジタルは怖い。また、スマホ決済の場合スマホが壊れたり充電がなくなった時に使えなくなってしまう。併用できるようにしたい。
文系男子	クレジットカードをメインで使用するため、デジタル払いだと口座払い日支障が出るのではないかと不安がある
理系男子	現金以外の支払いが出来ない場所も一定数あるためすべてをデジタル払いにすることは抵抗があるため。
文系男子	デジタル払いというのをよく知らないが、普通に口座に振り込んでほしい。そして通帳を開いたときに貯まったお金の額を見てニヤニヤしたい。
文系女子	私個人として現在デジタルを利用しているのは必要最低限であり、ほとんどの支払いを現金で済ませていることもあり、現金支給が良いのではないかという思いがある。しかし、QRコード決済を利用してから、その手軽さにも助けられているところが多々あり、利用も容易であるところに魅力を感じている。どちらにもメリットがあるため、まだどちらがいいと決めることは出来ないが、結局どちらの決済も利用するのであれば、現金支給にして、自分で必要な分だけチャージする方が現金でも、電子マネーでも利用できて良いのではないかと考えている。
文系男子	マイナンバーカード誤登録などデジタル系の形態は信用・信頼しきれない部分があり、不安。まだ分からない
文系女子	QRコード決済を使う際、チャージの手間が省けるのはありがたいが、携帯の中に大金を入れて持ち歩くには少し抵抗があるから。
文系女子	家賃などもデジタル払いできるかによるから。
理系男子	デジタル払いは便利だが、現金が必要な場面もまだまだ多いため。
理系女子	デジタルマネーの場合、現金として出金できるかどうか、その際に手数料がかかるかどうか分からないため。
理系女子	給料がデジタルで振り込まれることによる手違いやこちらが不利益を被る可能性があるため、もらう立場になって会社から提示された条件や給与を支払う仲介会社の評判などを確認してから決めたいと考えたから。

「選択しないと思う」と答えた理由

属性	内容
文系女子	まだデジタル払いできないところも多いから。
文系女子	特定の企業に依存した給与のデジタル払いは危険だと思うから
文系女子	銀行に入れてくれた方が、現金化できる上、お金の管理もしやすいと思うから。
文系男子	現金と比べて、セキュリティ面などで不安があるため
文系男子	デジタル支払いの場合現金化の手間が大きいから。
文系女子	現金の方がいざという時に使えるから。現金からデジタル払いにチャージをすることはできるが、逆はできないから。
文系女子	給与は、ポイントなどに紛れ込むのではなく、銀行口座で明確に管理した方が、お金の使い方の計画をしっかりと立てられるように感じるから。また、未だに現金のみでしか支払いできないお店や音楽フェス屋台が多いなか、すべてがデジタル化するのは使いにくいと思うから。
文系女子	銀行口座にあることで、しっかりと貯金がしやすいから。
理系男子	銀行の残高は銀行が倒産したとき保障されるが、電子マネーは保障されないのではないかと不安だから。
文系女子	デジタルだとお給料を貰った感がないから。
理系女子	現金から決済アプリなどに残高を動かすのは簡単だが、逆は手数料がかかったり、時間がかかったりするため。
理系女子	1つの場所にお金を集めることにリスクがあると感じるから。
理系女子	バーコード決済のアプリは、普段の買い物の支払いで使用していますが、そのアプリに入れている金額は1万円以下です。給与のような高額をアプリに入れることに対してはまだ不安があるので、デジタル払いは選択しないと思います。
文系女子	万が一に備えて現金をある程度持っておきたい気持ちがあるから。
理系女子	災害時など、結局最も信頼できるのは現金であるため。デジタルには自分ですればよく、その裁量は自分で決めたい
文系女子	デジタル払いだと、現金化することができないため。特に、医療関係の支払いは、デジタルに対応していないことから、緊急時にも現金は必要である。また、デジタルは無駄な出費が増える傾向があるので、現金とのバランスを自分自身で決定したいという思いがある。そのため、現段階ではデジタル払いよりも現金払いの方が便利かつメリットが多いと判断している。
理系女子	銀行が直接運営していないデジタルマネーでは、運営終了などの危険性を孕んでいるため。
文系男子	企業側のメリットは明確である一方で、資産の流動性や支払い方法選択の制限、それに伴う不都合や間接的な経済的損失を考えると、受給者側に選択権がある状況においてはデジタル給与を選ぶ理由が無い。
理系女子	普段あまりキャッシュレス決済を利用しないため。マイナンバーカードの問題がニュースで取り上げられているのを見ると、まだデジタル払いを導入するにあたってのセキュリティ対策に不安が残るから。
文系男子	確実に給与を受け取ることに懸念が残ると感じるため。昨今、マイナンバーをはじめ、デジタル関連で種々の問題が生じているが、同じことが給与で起こるのは困る。直接自分の生活に繋がるものであるため、より確実な方法があるのであればそちらを優先したいし、仮にデジタル払いを選択するのであれば、それが実際にシステム上安全なものだと実証されてからにしたいと思う。
文系女子	キャッシュレスは現金に比べるとまだまだ信頼できるものではないと思うから。キャッシュレス決済は便利だとは思いますが、自分の生活を支える給料全てがキャッシュレスとなると、もしもの時にシステム上のトラブルで全財産を失うことにならないか心配だ。
文系女子	デジタル払いは便利だと感じますが、不具合や災害が起きた際には現金が手元にあった方が良いと考えるためです。給与は現金でいただき、その現金を現金のまま使うことも、クレジットカードで決済することも自由に選びたいと考えます。
文系女子	地方に住んでいるため、現金のみの個人経営店に行くことが結構多いため。
理系女子	銀行口座への振込の方が、様々な融通がきくため。口座→デジタル払いは簡単だが、デジタル払い→口座は手数料がかかるため。
理系女子	災害や障害が起こった時に現金が手元にないと困ると思うから。キャッシュレス決済は便利ではあるが、完全なわけではないので、現金とうまくつかっていく必要があると考える。
文系女子	やはりデジタルでの金銭のやり取りは現金より不確かな部分があったり、一瞬にして盗まそうな不安があるため。
文系女子	デジタル払いだと、お金が目で見えないためうまく管理出来ず、使いすぎてしまいそうだから。
文系女子	奨学金を返済する必要があるため、給与が銀行口座に振り込まれた方が楽だから。